

対象校No. 299
注4

学校コード F104310100898
注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部設置
注1

届出

注2

東北学院大学 地域総合学部 地域コミュニティ学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人東北学院
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	教学組織改編推進室
職名・氏名	カチョウ サクライ タク 課長 櫻井 卓
電話番号	022-264-6328
(夜間)	022-264-6328
e-mail	oaor_2023@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

地域総合学部

＜地域コミュニティ学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	52

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人東北学院

(2) 大 学 名

東北学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒980-8511

宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

〒984-8588

宮城県仙台市若林区清水小路3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ハラダ ヨシノリ) 原 田 善 教 (令和2年4月)		
学 長	(オオニシ ハルキ) 大 西 晴 樹 (平成31年4月)		
学 部 長	(イガクラ マサシ) 伊 鹿 倉 正 司 (令和5年4月)		
学科長等	(スガワラ サナエ) 菅 原 真 枝 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
地域総合学部 地域コミュニティ学科 学士（地域学）	文学関係 社会学・社会 福祉学関係	4 年	150 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	600 人	—	教養学部地域構想学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	150人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	150人 (—) [—]	— 人 (—) [—]	—	1.07倍	1.06倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	846 (—) [—]	— (—) [—]	738 (—) [—]	— (—) [—]				
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	834 (—) [—]	— (—) [—]	733 (—) [—]	— (—) [—]				
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	423 (—) [—]	— (—) [—]	442 (—) [—]	— (—) [—]				
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	154 (—) [—]	— (—) [—]	168 (—) [—]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		1.02		1.12					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- ・ 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
- ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	154 [—] (—)	— [—] (—)	168 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	153 [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	154 [—] (—)	— [—] (—)	321 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	人	人	令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	154 人	1 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	1 人	0 人	除籍(1名)
令和6年度	321 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{154} = \boxed{0.64} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{321} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<地域総合学部 地域コミュニティ学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教養教育科目	人間 的基 礎	聖書を学ぶ	1前	2								兼1	
		キリスト教の歴史と思想	1後	2								兼1	
		キリスト教学A	3前・後		2							兼1	
		キリスト教学B	3前・後		2							兼1	
		キリスト教学C	3前・後		2							兼1	
		キリスト教学D	3前・後		2							兼1	
		共生社会と倫理	2前・後		2							兼3	
		科学技術社会と倫理	2前・後		2							兼3	
		よき社会生活のためにA（法律）	1前・後		2							兼1	
		よき社会生活のためにB（福祉）	1前・後		2							兼1	
		よき社会生活のためにC（健康）	1前・後		2							兼2	
		知的 基 礎	リーディング&ライティング	1前・後		2							兼1
	クリティカル・シンキング		1前・後		2							兼1	
	情報リテラシー		1前・後	2								兼1	
	統計的思考の基礎		1前・後		2							兼1	
	科学的思考の基礎		1前・後		2							兼6	
	課 題 探 究		キャリア形成の探究	1前	2								兼1
			東北学院史の探究	3前・後		2							兼1
			データ活用による探究	2前・後		2							兼2
			地域ボランティア活動の探究	1前・後		2							兼1
			地域課題の探究	2前・後		2							兼1
			課題探究演習	1後	2								兼2
	人 文 系		哲学	1前・後		2							兼1
		芸術論	1前・後		2							兼1	
		文化の歴史	1前・後		2							兼1	
		音楽	1前・後		2							兼1	
		倫理学	1前・後		2							兼1	
		文学	1前・後		2							兼1	
		歴史学	1前・後		2							兼1	
		文化人類学	1前・後		2							兼1	
		言語論	1前・後		2							兼1	
		共 通 教 養 科 目	社 会 系	心理学	1前・後		2						
	社会学			1前・後		2		1					兼3
	経営学			1前・後		2							兼2
	経済学			1前・後		2							兼4
	法学			1前・後		2							兼1
	日本国憲法			1前・後		2							兼1
	現代の政治			1前・後		2							兼1
	地理学			1前・後		2		1	2				兼1
	自 然 系		社会福祉論	1前・後		2		2	1				兼1
			ジェンダー論	1前・後		2							兼1
			東北地域論	1前・後		2		2	1				兼1
数理の科学			1前・後		2							兼6	
記号論理学			1前・後		2							兼1	
生命の科学			1前・後		2							兼2	
環境の科学			1前・後		2		1	1				兼1	
自然の科学			1前・後		2							兼1	
小計（19科目）	—	6	92	0	6	4	0	0	0	0	兼71		

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教養教育科目	T G ベ ー シ ン グ	人間的基礎	聖書を学ぶ	1前	2								兼3	
			キリスト教の歴史と思想	1後	2								兼2	
			キリスト教学A	3前・後		2							兼1	
			キリスト教学B	3前・後		2							兼1	
			キリスト教学C	3前・後		2							兼1	
			キリスト教学D	3前・後		2							兼1	
		知的基礎	共生社会と倫理	2前・後		2								兼5
			科学技術社会と倫理	2前・後		2								兼6
			よき社会生活のためにA（法律）	1前・後		2								兼6
			よき社会生活のためにB（福祉）	1前・後		2								兼4
			よき社会生活のためにC（健康）	1前・後		2								兼3
			リーディング&ライティング	3前・後		2								兼16
	課題探究	クリティカル・シンキング	2前・後		2								兼3	
		情報リテラシー	2前・後	2									兼1	
		統計的思考の基礎	1前・後		2								兼6	
		科学的思考の基礎	1前・後		2								兼11	
		キャリア形成の探究	1前・後		2								兼4	
		東北学院史の探究	3前・後		2								兼1	
		データ活用による探究	2前・後		2								兼9	
		地域ボランティア活動の探究	1前・後		2								兼4	
		地域課題の探究	2前・後		2								兼4	
		課題探究演習	1後		2								兼21	
	人文系	哲学	3前・後		2								兼3	
		芸術論	1前・後		2								兼3	
		文化の歴史	1前・後		2								兼6	
		音楽	1前・後		2								兼2	
		倫理学	1前・後		2								兼3	
		文学	1前・後		2								兼2	
		歴史学	3前・後		2								兼7	
		文化人類学	2前・後		2								兼4	
		言語論	2前・後		2								兼2	
		社会系	心理学	1前・後		2								兼7
	社会学		1前・後		2		1						兼6	
	経営学		1前・後		2								兼2	
	経済学		3前・後		2								兼2	
	法学		3前・後		2								兼2	
	日本国憲法		3前・後		2								兼3	
	現代の政治		1前・後		2								兼3	
	地理学		1前・後		2		1	2					兼1	
	社会福祉論		1前・後		2		2	1					兼1	
	ジェンダー論		3前・後		2								兼1	
	自然系	東北地域論	1前・後		2		2	2					兼6	
数理の科学		1前・後		2								兼3		
記号論理学		1前・後		2								兼1		
生命の科学		1前・後		2								兼2		
環境の科学		1前・後		2		2	1					兼1		
自然の科学		3前・後		2								兼5		
先端科学と技術		1前・後		2								兼4		
AI社会の基礎		1前・後		2								兼8		
小計（49科目）		—	6	92	0	7	5	0	0	0		兼153		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
外国語科目	第1類	英語ⅠA	1前	1							兼1
		英語ⅠB	1後	1							兼1
		英語ⅡA	2前	1							兼1
		英語ⅡB	2後	1							兼1
		ドイツ語ⅠA	1前	2							兼1
	第2類	フランス語ⅠA	1前	2							兼2
		中国語ⅠA	1前	2							兼1
		韓国・朝鮮語ⅠA	1前	2							兼1
		ドイツ語ⅠB	1後	2							兼1
		フランス語ⅠB	1後	2							兼2
		中国語ⅠB	1後	2							兼1
		韓国・朝鮮語ⅠB	1後	2							兼1
		ドイツ語ⅡA	2前	1							兼1
		フランス語ⅡA	2前	1							兼2
		中国語ⅡA	2前	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅡA	2前	1							兼1
		ドイツ語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		フランス語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		中国語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		ドイツ語ⅡB	2後	1							兼1
		フランス語ⅡB	2後	1							兼2
		中国語ⅡB	2後	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅡB	2後	1							兼1
		ドイツ語コミュニケーションB	2後	1							兼1
		フランス語コミュニケーションB	2後	1							兼2
		中国語コミュニケーションB	2後	1							兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーションB	2後	1							兼1
		ドイツ語ⅢA	3前	1							兼1
		フランス語ⅢA	3前	1							兼2
		中国語ⅢA	3前	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅢA	3前	1							兼1
		ドイツ語ⅢB	3後	1							兼1
		フランス語ⅢB	3後	1							兼2
		中国語ⅢB	3後	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅢB	3後	1							兼1
	第3類	ベーシック英語	1前		1						兼1
		英語コミュニケーション	1前・後	2							兼1
		英語ⅢA	3前	1							兼1
		英語ⅢB	3後	1							兼1
		小計(40科目)	—	4	44	1	0	0	0	0	兼12
保健体育	保健体育	スポーツ実技A	1前・後	1							兼1
		スポーツ実技B	1前・後	1							兼1
		体育講義	1前・後	2							兼1
	留学科目	海外研究A	2通	4							兼1
		海外研究B	1後	2							兼1
外国国生人科及び	留学科目	海外研究C	1後	1							兼1
		小計(3科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	兼1
	外国国生人科及び	日本語ⅠA	1前	1							兼1
		日本語ⅠB	1後	1							兼1
		日本語ⅡA	2前	1							兼1
		日本語ⅡB	2後	1							兼1
		小計(4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	兼2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
外国語科目	第1類	英語ⅠA	1前	1							兼13
		英語ⅠB	1後	1							兼13
		英語ⅡA	2前	1							兼12
		英語ⅡB	2後	1							兼12
	第2類	ドイツ語ⅠA	1前	2							兼7
		フランス語ⅠA	1前	2							兼4
		中国語ⅠA	1前	2							兼8
		韓国・朝鮮語ⅠA	1前	2							兼7
		ドイツ語ⅠB	1後	2							兼5
		フランス語ⅠB	1後	2							兼4
		中国語ⅠB	1後	2							兼6
		韓国・朝鮮語ⅠB	1後	2							兼4
		ドイツ語ⅡA	2前	1							兼1
		フランス語ⅡA	2前	1							兼1
		中国語ⅡA	2前	1							兼2
		韓国・朝鮮語ⅡA	2前	1							兼1
		ドイツ語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		フランス語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		中国語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		ドイツ語ⅡB	2後	1							兼1
		フランス語ⅡB	2後	1							兼1
		中国語ⅡB	2後	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅡB	2後	1							兼1
		ドイツ語コミュニケーションB	2後	1							兼1
		フランス語コミュニケーションB	2後	1							兼1
		中国語コミュニケーションB	2後	1							兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーションB	2後	1							兼1
		ドイツ語ⅢA	3前	1							兼1
		フランス語ⅢA	3前	1							兼2
		中国語ⅢA	3前	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅢA	3前	1							兼1
		ドイツ語ⅢB	3後	1							兼1
		フランス語ⅢB	3後	1							兼2
		中国語ⅢB	3後	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅢB	3後	1							兼1
	第3類	ベーシック英語	1前		1						兼1
		英語コミュニケーション	1前・後	2							兼3
		英語ⅢA	3前	1							兼1
		英語ⅢB	3後	1							兼1
		小計(40科目)	—	4	44	1	0	0	0	0	兼51
保健体育	保健体育	スポーツ実技A	1前・後	1							兼5
		スポーツ実技B	1前・後	1							兼6
		体育講義	1前・後	2							兼2
	留学科目	海外研究A(未開講)	2通	4							兼1
		海外研究B(未開講)	1後	2							兼1
外国国生人科及び	留学科目	海外研究C(未開講)	1後	1							兼1
		小計(3科目)	—	0	7	0	0	0	0	0	兼1
	外国国生人科及び	日本語ⅠA	1前	1							兼1
		日本語ⅠB	1後	1							兼1
		日本語ⅡA	2前	1							兼1
		日本語ⅡB	2後	1							兼1
		小計(4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	兼2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 基 盤 科 目	社会と産業基礎論	1前	2			4	2				兼1
	健康と福祉基礎論	1前	2			4	2				
	人と自然基礎論	1前	2			2	3				
	基礎コンピュータ	1前	2				1				
	市民活動論	1後		2			1				
	地域生活論	1後		2		2	1				
	地域と自然	1後		2			1				
	地理学要説	1前		2		1					
	地誌学要説	1前		2		1					
	SDGs概論	1前		2							
	地域データ分析法	2後		2							
	共同体と市民社会	3前		2							
	地域コミュニティ学演習Ⅰ	3前	2			10	7				
	地域コミュニティ学演習Ⅱ	3後	2			10	7				
	総合研究Ⅰ	4前	2			10	7				
	総合研究Ⅱ	4後	2			10	7				
専 門 基 盤 科 目	都市と農山村の地理学	3前	2								兼1
	経済地理学	2後		2		1					
	地域資源保全論	2後		2			1				
	地域と教育の歴史	2前		2		1					
	地域システム論	3後		2		1	1				
	地域社会論	3前		2		1					
	地域政策論	3後		2		1					
	地域文化論	3後		2			1				
	地域福祉論	2後		2		1					
	生涯学習概論Ⅰ	2前		2		1					
	生涯学習概論Ⅱ	2後		2		1					
	社会コミュニケーション論	2前		2		1					
	地域と教育支援	3後		2			1				
	NPO論	3前		2			1				
	福祉社会論	3後		2		1					
	教育と社会	3前		2			1				
専 門 基 盤 科 目	気候学	2後		2			1				兼1
	地形学	2後		2		1					
	生態学	2前		2		1					
	環境社会学	2前		2							
	環境マネジメント	3後		2			1				
	地域防災科学	3前		2			1				
	SDGsとシティズンシップ論	3前		2			1				
	地域コミュニティ学基礎実習	1後		2		8	5				
	地域コミュニティ学発展実習	2前・後		2		8	5				
	測量学実習	3後		2		1					
	GIS実習	3前		2			1				
	海外地域実習	3通		2		1	2				
	日本史概説	1後		2							
	外国史概説	1前		2							
	民俗学概論Ⅰ	1前		2							
	民俗学概論Ⅱ	1後		2							
	測量学	3前		2		1					
	小計（49科目）	—	16	82	0	10	7	0	0	0	兼6

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 基 盤 科 目	社会と産業基礎論	1前	2			4	3				兼2
	健康と福祉基礎論	1前	2			4	2	1			
	人と自然基礎論	1前	2			3	2				
	基礎コンピュータ	1前	2				1				
	市民活動論	1後		2			1				
	地域生活論	1後		2		2	1				
	地域と自然	1後		2			2				
	地理学要説	1前		2		1					
	地誌学要説	1前		2		1					
	SDGs概論	1前		2							
	地域データ分析法	2後		2			1				
	共同体と市民社会	3前		2							
	地域コミュニティ学演習Ⅰ	3前	2			11	6				
	地域コミュニティ学演習Ⅱ	3後	2			11	6				
	総合研究Ⅰ	4前	2			11	6				
	総合研究Ⅱ	4後	2			11	6				
専 門 基 盤 科 目	都市と農山村の地理学	3前		2							兼1
	経済地理学	2後		2		1					
	地域資源保全論	2後		2			1				
	地域と教育の歴史	2前		2		1					
	地域システム論	3後		2		1	1				
	地域社会論	3前		2		1					
	地域政策論	3後		2		1					
	地域文化論	3後		2			1				
	地域福祉論	2後		2		1					
	生涯学習概論Ⅰ	2前		2		1					
	生涯学習概論Ⅱ	2後		2		1					
	社会コミュニケーション論	2前		2		1					
	地域と教育支援	3後		2			1				
	NPO論	3前		2			1				
	福祉社会論	3後		2		1					
	教育と社会	3前		2			1				
専 門 基 盤 科 目	気候学	2後		2			1				兼1
	地形学	2後		2		1					
	生態学	2前		2		1					
	環境社会学	2前		2							
	環境マネジメント	3後		2			1				
	地域防災科学	3前		2			1				
	SDGsとシティズンシップ論	3前		2			1				
	地域コミュニティ学基礎実習	1後		2		8	6				
	地域コミュニティ学発展実習	2前・後		2		8	6				
	測量学実習	3後		2		1					
	GIS実習	3前		2			1				
	海外地域実習	3通		2		1	2				
	日本史概説	1後		2							
	外国史概説	1前		2							
	民俗学概論Ⅰ	1前		2							
	民俗学概論Ⅱ	1後		2							
	測量学	3前		2		1					
	小計（49科目）	—	16	82	0	11	7	1	0	0	兼8

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教員免許状の 教科に 関する科目	歴史の中の東北	2前	2	2							兼2
	江戸から明治へ	2前	2	2							兼1
	イスラーム世界の形成と展開	2前	2	2							兼2
	アジア史概論Ⅰ	1前	2	2							兼2
	アジア史概論Ⅱ	1後	2	2							兼2
	ヨーロッパ史概論Ⅰ	1前	2	2							兼1
	ヨーロッパ史概論Ⅱ	1後	2	2							兼1
	政治学概論	1前	2	2							兼1
	経済学概論Ⅰ	1前	2	2							兼1
	経済学概論Ⅱ	1後	2	2							兼1
	国際経済学	2前	2	2							兼1
	福祉国家概論	2前	2	2							兼1
	政策分析論	2後	2	2							兼1
教員免許 および 社会 教育 主事 に 関 係 す る 科 目	教育基礎論	1前	2	2							兼1
	現代教職論	1前・後	2	2		1					
	教育の制度と経営	1後	2	2			1				
	教育心理学	2前・後	2	2							兼2
	特別支援教育論	3前・後	2	2							兼1
	教育課程論	2前	2	2		1					
	道徳教育の理論と方法	2前・後	2	2							兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	3前・後	2	2							兼2
	教育の方法と技術	2前・後	2	2							兼1
	ICT活用の理論と方法	3前・後	2	2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論と方法	2前・後	2	2		1					
	教育相談の理論と方法	2前・後	2	2		1					
	社会・地理歴史科教育法（概論・理論）	2後	2	2			1				
	社会・公民科教育法（概論・理論）	2後	2	2			1				
	社会・地理歴史科教育法（実践）	3後	2	2			1				
	社会・公民科教育法（実践）	3後	2	2			1				
	社会・地理歴史科教育法（応用）	3前	2	2			1				
	社会・公民科教育法（応用）	3前	2	2			1				
	教育実習Ⅰ	4通	3	3			1				
	教育実習Ⅱ	4通	2	2			1				
	教職実践演習（中・高）	4後	2	2		2	2				兼3
社会 教育 主事 に 関 係 す る 科 目	介護体験実習	3通	2	2							兼1
	博物館概論	1前	2	2							兼1
	博物館教育論	1前・後	2	2							兼1
	図書館概論	2前	2	2							兼1
	生涯学習支援論	3通	4	4							兼2
	社会教育実習Ⅰ	3前	1	1		1					
	社会教育実習Ⅱ	3後	1	1		1					
	現代社会と社会教育	3前・後	2	2							兼1
	社会教育課題研究	3通	4	4							兼1
	教育調査実習A	3前	2	2		1					
社会 教育 主事 に 関 係 す る 科 目	教育調査実習B	3後	2	2		1					
	社会教育経営論	4通	4	4		1					兼1
	図書館制度・経営論	4前・後	2	2							兼1
	小計（17科目）	—	0	99	0	3	2	0	0	0	兼26
	合計（196科目）	—	26	332	1	10	7	0	0	0	兼112
卒業要件及び履修方法											
教養教育科目から34単位、外国語科目から6単位、専門科目から66単位、その他選択科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。											
なお、教養教育科目の選択科目のうち、TGベーシック区分の「キリスト教学A」、「キリスト教学B」、「キリスト教学C」、「キリスト教学D」から2単位選択必修、「共生社会と倫理」、「科学技術社会と倫理」から2単位選択必修、「よき社会生活のためにA（法律）」、「よき社会生活のためにB（福祉）」、「よき社会生活のためにC（健康）」から2単位選択必修、「リーディング&ライティング」、「クリティカル・シンキング」から2単位選択必修、「統計的思考の基礎」、「科学的思考の基礎」から2単位選択必修、課題探究区分から6単位選択必修、共通教養科目区分の人文系区分から4単位選択必修、社会系区分から4単位選択必修、自然系区分から4単位選択必修とする。											
【履修登録上の制限】											
1年間に履修登録できる単位数の上限は、第1学年次から第3学年次を40単位とし、第4学年次を46単位とする。ただし、資格科目については上限を超えて履修することができる。											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教員免許状の 教科に 関する科目	歴史の中の東北	2後	2	2							兼2
	江戸から明治へ	2前	2	2							兼1
	イスラーム世界の形成と展開	2前	2	2							兼2
	アジア史概論Ⅰ	1前	2	2							兼1
	アジア史概論Ⅱ	1後	2	2							兼1
	ヨーロッパ史概論Ⅰ	1前	2	2							兼1
	ヨーロッパ史概論Ⅱ	1後	2	2							兼1
	政治学概論	1前	2	2							兼1
	経済学概論Ⅰ	1前	2	2							兼1
	経済学概論Ⅱ	1後	2	2							兼1
	国際経済学	2前	2	2							兼1
	福祉国家概論	2前	2	2							兼1
	政策分析論	2後	2	2							兼1
教員免許 および 社会 教育 主事 に 関 係 す る 科 目	教育基礎論	1前	2	2							兼1
	現代教職論	1前・後	2	2			1				
	教育の制度と経営	1後	2	2				1			
	教育心理学	2前・後	2	2					1		兼2
	特別支援教育論	3前・後	2	2							兼1
	教育課程論	2前	2	2		1					
	道徳教育の理論と方法	2前・後	2	2							兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	3前・後	2	2							兼2
	教育の方法と技術	2前・後	2	2							兼1
	ICT活用の理論と方法	3前・後	2	2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論と方法	2前・後	2	2		1					
	教育相談の理論と方法	2前・後	2	2		1					
	社会・地理歴史科教育法（概論・理論）	2後	2	2			1				
	社会・公民科教育法（概論・理論）	2後	2	2			1				
	社会・地理歴史科教育法（実践）	3後	2	2			1				
	社会・公民科教育法（実践）	3後	2	2			1				
	社会・地理歴史科教育法（応用）	3前	2	2			1				
	社会・公民科教育法（応用）	3前	2	2			1				
	教育実習Ⅰ	4通	3	3			1				
	教育実習Ⅱ	4通	2	2			1				
	教職実践演習（中・高）	4後	2	2			3	1			兼3
社会 教育 主事 に 関 係 す る 科 目	介護体験実習	3通	2	2							兼1
	博物館概論	1前	2	2							兼1
	博物館教育論	1前・後	2	2							兼1
	図書館概論	2前	2	2							兼1
	生涯学習支援論	3通	4	4							兼2
	社会教育実習Ⅰ	3前	1	1		1					
	社会教育実習Ⅱ	3後	1	1		1					
	現代社会と社会教育	3前・後	2	2							兼1
	社会教育課題研究	3通	4	4							兼1
	教育調査実習A	3前	2	2			1				
社会 教育 主事 に 関 係 す る 科 目	教育調査実習B	3後	2	2			1				
	社会教育経営論	4通	4	4			1				兼1
	図書館制度・経営論	4前・後	2	2							兼1
	小計（17科目）	—	0	99	0	4	1	1	0	0	兼26
	合計（196科目）	—	26	332	1	11	7	1	0	0	兼254
卒業要件及び履修方法											
教養教育科目から34単位、外国語科目から6単位、専門科目から66単位、その他選択科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。											
なお、教養教育科目の選択科目のうち、TGベーシック区分の「キリスト教学A」、「キリスト教学B」、「キリスト教学C」、「キリスト教学D」から2単位選択必修、「共生社会と倫理」、「科学技術社会と倫理」から2単位選択必修、「よき社会生活のためにA（法律）」、「よき社会生活のためにB（福祉）」、「よき社会生活のためにC（健康）」から2単位選択必修、「リーディング&ライティング」、「クリティカル・シンキング」から2単位選択必修、「統計的思考の基礎」、「科学的思考の基礎」から2単位選択必修、課題探究区分から6単位選択必修、共通教養科目区分の人文系区分から4単位選択必修、社会系区分から4単位選択必修、自然系区分から4単位選択必修とする。											
【履修登録上の制限】											
1年間に履修登録できる単位数の上限は、第1学年次から第3学年次を40単位とし、第4学年次を46単位とする。ただし、資格科目については上限を超えて履修することができる。											

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教養教育科目	T G ベ ー シ ッ ク	人間的基礎	聖書を学ぶ	1前	2								兼3
			キリスト教の歴史と思想	1後	2								兼2
			キリスト教学A	3前・後	2								兼1
			キリスト教学B	3前・後	2								兼1
			キリスト教学C	3前・後	2								兼1
			キリスト教学D	3前・後	2								兼1
			共生社会と倫理	2前・後	2								兼3
			科学技術社会と倫理	2前・後	2								兼3
			よき社会生活のためにA（法律）	1前・後	2								兼5
			よき社会生活のためにB（福祉）	1前・後	2								兼3
			よき社会生活のためにC（健康）	1前・後	2								兼9
	知的基礎	リーディング&ライティング	1前・後	2								兼16	
		クリティカル・シンキング	1前・後	2								兼3	
		情報リテラシー	1前・後	2								兼1	
		統計的思考の基礎	1前・後	2								兼7	
		科学的思考の基礎	1前・後	2			1	1				兼10	
	課題探究	キャリア形成の探究	1前・後	2								兼4	
		東北学院史の探究	3前・後	2								兼1	
		データ活用による探究	2前・後	2								兼2	
		地域ボランティア活動の探究	1前・後	2								兼4	
		地域課題の探究	2前・後	2								兼1	
		課題探究演習	1後	2								兼18	
	人文系	哲学	1前・後	2								兼3	
		芸術論	1前・後	2								兼3	
		文化の歴史	1前・後	2								兼6	
		音楽	1前・後	2								兼2	
		倫理学	1前・後	2								兼3	
		文学	1前・後	2								兼2	
		歴史学	1前・後	2								兼7	
		文化人類学	1前・後	2								兼3	
		言語論	1前・後	2								兼2	
		社会系	心理学	1前・後	2								兼10
			社会学	1前・後	2			1					兼7
経営学	1前・後		2								兼2		
経済学	1前・後		2								兼2		
法学	1前・後		2								兼4		
日本国憲法	1前・後		2								兼4		
現代の政治	1前・後		2								兼5		
地理学	1前・後		2				1	3					
社会福祉論	1前・後		2			2	1				兼1		
ジェンダー論	1前・後		2								兼1		
東北地域論	1前・後		2			2	1				兼7		
自然系	数理の科学	1前・後	2								兼8		
	記号論理学	1前・後	2								兼1		
	生命の科学	1前・後	2								兼2		
	環境の科学	1前・後	2			2	1				兼2		
	自然の科学	1前・後	2								兼5		
	先端科学と技術	1前・後	2								兼6		
	AI社会の基礎	1前・後	2								兼9		
	小計（49科目）	—	6	92	0	7	5	0	0	0	兼164		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
外国語科目	第1類	英語ⅠA	1前	1							兼12
		英語ⅠB	1後	1							兼12
		英語ⅡA	2前	1							兼1
		英語ⅡB	2後	1							兼1
	第2類	ドイツ語ⅠA	1前	2							兼9
		フランス語ⅠA	1前	2							兼7
		中国語ⅠA	1前	2							兼11
		韓国・朝鮮語ⅠA	1前	2							兼8
		ドイツ語ⅠB	1後	2							兼8
		フランス語ⅠB	1後	2							兼5
		中国語ⅠB	1後	2							兼8
		韓国・朝鮮語ⅠB	1後	2							兼3
		ドイツ語ⅡA	2前	1							兼1
		フランス語ⅡA	2前	1							兼2
		中国語ⅡA	2前	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅡA	2前	1							兼1
		ドイツ語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		フランス語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		中国語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA	2前	1							兼1
		ドイツ語ⅡB	2後	1							兼1
		フランス語ⅡB	2後	1							兼2
		中国語ⅡB	2後	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅡB	2後	1							兼1
		ドイツ語コミュニケーションB	2後	1							兼1
		フランス語コミュニケーションB	2後	1							兼2
		中国語コミュニケーションB	2後	1							兼1
		韓国・朝鮮語コミュニケーションB	2後	1							兼1
		ドイツ語ⅢA	3前	1							兼1
		フランス語ⅢA	3前	1							兼2
		中国語ⅢA	3前	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅢA	3前	1							兼1
		ドイツ語ⅢB	3後	1							兼1
		フランス語ⅢB	3後	1							兼2
		中国語ⅢB	3後	1							兼1
		韓国・朝鮮語ⅢB	3後	1							兼1
	第3類	ベーシック英語	1前		1						兼1
		英語コミュニケーション	1前・後	2							兼2
		英語ⅢA	3前	1							兼1
		英語ⅢB	3後	1							兼1
		小計（40科目）	—	4	44	1	0	0	0	0	兼51
保健体育	スポーツ実技A	1前・後		1							兼5
	スポーツ実技B	1前・後		1							兼7
	体育講義	1前・後		2							兼1
	小計（3科目）	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼12
留学科目	海外研究A	2通		4							兼1
	海外研究B	1後		2							兼1
	海外研究C	1後		1							兼1
	小計（3科目）	—	0	7	0	0	0	0	0	0	兼1
外国語生人科及び	日本語ⅠA	1前		1							兼1
	日本語ⅠB	1後		1							兼1
	日本語ⅡA	2前		1							兼1
	日本語ⅡB	2後		1							兼1
	小計（4科目）	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	専 門 基 盤 科 目	社会と産業基礎論	1前	2		4	2				兼1 兼1 兼1
		健康と福祉基礎論	1前	2		4	2				
		人と自然基礎論	1前	2		2	3				
		基礎コンピュータ	1前	2			1				
		市民活動論	1後	2			1				
		地域生活論	1後	2		2	1				
		地域と自然	1後	2			1				
		地理学要説	1前	2		1					
		地誌学要説	1前	2		1					
		SDGs概論	1前	2							
		地域データ分析法	2後	2							
		共同体と市民社会	3前	2		1					
		地域コミュニティ学演習Ⅰ	3前	2		10	7				
		地域コミュニティ学演習Ⅱ	3後	2		10	7				
		総合研究Ⅰ	4前	2		10	7				
		総合研究Ⅱ	4後	2		10	7				
	社 会 産 業 領 域 科 目	都市と農山村の地理学	3前	2							兼1
		経済地理学	2後	2		1					
		地域資源保全論	2後	2			1				
		地域と教育の歴史	2前	2		1					
		地域システム論	3後	2		1	1				
		地域社会論	3前	2		1					
		地域政策論	3後	2		1					
		地域文化論	3後	2			1				
		地域福祉論	2後	2		1					
		生涯学習概論Ⅰ	2前	2		1					
		生涯学習概論Ⅱ	2後	2		1					
		社会コミュニケーション論	2前	2		1					
		地域と教育支援	3後	2			1				
		NPO論	3前	2			1				
		福祉社会論	3後	2		1					
		教育と社会	3前	2			1				
	人 と 自 然 領 域 科 目	気候学	2後	2			1				兼1
		地形学	2後	2		1					
		生態学	2前	2		1					
		環境社会学	2前	2							
		環境マネジメント	3後	2			1				
		地域防災科学	3前	2			1				
		SDGsとシティズンシップ論	3前	2			1				
	実 習 科 目	地域コミュニティ学基礎実習	1後	2		8	5				
		地域コミュニティ学発展実習	2後	2		8	5				
		測量学実習	3後	2		1					
		GIS実習	3前	2			1				
		海外地域実習	3通	2		1	2				
	専 門 関 連 科 目	日本史概説	1後	2							兼1
		外国史概説	1前	2							兼1
		民俗学概論Ⅰ	1前	2							兼1
		民俗学概論Ⅱ	1後	2							兼1
		測量学	3前	2		1					
	小計（49科目）		—	16	82	0	10	7	0	0	兼6

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教員免許 状の教科 に関する科目 教員免許 および社会 教育主事に 関係する科目	歴史の中の東北	2前		2							兼2
	江戸から明治へ	2前		2							兼1
	イスラーム世界の形成と展開	2前		2							兼2
	アジア史概論Ⅰ	1前		2							兼2
	アジア史概論Ⅱ	1後		2							兼2
	ヨーロッパ史概論Ⅰ	1前		2							兼1
	ヨーロッパ史概論Ⅱ	1後		2							兼1
	政治学概論	1前		2							兼1
	経済学概論Ⅰ	1前		2							兼1
	経済学概論Ⅱ	1後		2							兼1
	国際経済学	2前		2							兼1
	福祉国家概論	2前		2							兼1
	政策分析論	2後		2							兼1
	教育基礎論	1前		2							兼1
	現代教職論	1前・後		2		1					
	教育の制度と経営	1後		2			1				
	教育心理学	2前・後		2							兼2
	特別支援教育論	3前・後		2							兼1
	教育課程論	2前		2		1					
	道徳教育の理論と方法	2前・後		2							兼1
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	3前・後		2							兼2
	教育の方法と技術	2前・後		2							兼1
	ICT活用の理論と方法	3前・後		2							兼1
	生徒指導・進路指導の理論と方法	2前・後		2		1					兼1
	教育相談の理論と方法	2前・後		2		1					
	社会・地理歴史科教育法（概論・理論）	2後		2			1				
	社会・公民科教育法（概論・理論）	2後		2			1				
	社会・地理歴史科教育法（実践）	3後		2			1				
	社会・公民科教育法（実践）	3後		2			1				
	社会・地理歴史科教育法（応用）	3前		2			1				
	社会・公民科教育法（応用）	3前		2			1				
	教育実習Ⅰ	4通		3			1				
	教育実習Ⅱ	4通		2			1				
	教職実践演習（中・高）	4後		2		2	2				兼3
	介護体験実習	3通		2							兼1
	博物館概論	1前		2							兼1
	博物館教育論	1前・後		2							兼1
	図書館概論	2前		2							兼1
	生涯学習支援論	3通		4							兼2
	社会教育実習Ⅰ	3前		1		1					
	社会教育実習Ⅱ	3後		1		1					
	現代社会と社会教育	3前・後		2							兼1
	社会教育課題研究	3通		4							兼1
	教育調査実習A	3前		2		1					
	教育調査実習B	3後		2		1					
	社会教育経営論	4通		4		1					兼1
	図書館制度・経営論	4前・後		2							
	小計（17科目）	—	0	99	0	3	2	0	0	0	兼28
	合計（195科目）	—	26	332	1	10	7	0	0	0	兼242
卒業要件及び履修方法											
教養教育科目から34単位、外国語科目から6単位、専門科目から66単位、その他選択科目から18単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 なお、教養教育科目の選択科目のうち、TGベーシック区分の「キリスト教学A」、「キリスト教学B」、「キリスト教学C」、「キリスト教学D」から2単位選択必修、「共生社会と倫理」、「科学技術社会と倫理」から2単位選択必修、「よき社会生活のためにA（法律）」、「よき社会生活のためにB（福祉）」、「よき社会生活のためにC（健康）」から2単位選択必修、「リーディング&ライティング」、「クリティカル・シンキング」から2単位選択必修、「統計的思考の基礎」、「科学的思考の基礎」から2単位選択必修、課題探究区分から6単位選択必修、共通教養科目区分の人文系区分から4単位選択必修、社会系区分から4単位選択必修、自然系区分から4単位選択必修とする。 【履修登録上の制限】 1年間に履修登録できる単位数の上限は、第1学年次から第3学年次を40単位とし、第4学年次を46単位とする。ただし、資格科目については上限を超えて履修することができる。											

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任・兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」**として記入してください。
 - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。**
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ **（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）**
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
- （例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度】（新）→【令和5年度】（新）→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】（旧）→【令和5年度】（旧）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・履修者数増加の理由により開講コマを増やしたため、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
「英語コミュニケーション」兼1→2
「スポーツ実技A」兼1→5
「スポーツ実技B」兼1→7
- ・統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより履修可能なコマ数が増加したため、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
「よき社会生活のためにA（法律）」兼1→5
「よき社会生活のためにB（福祉）」兼1→3
「よき社会生活のためにC（健康）」兼2→9
「リーディング&ライティング」兼1→16
「クリティカル・シンキング」兼1→3
「統計的思考の基礎」兼1→7
「地域ボランティア活動の探究」兼1→4
「課題探究演習」兼2→18
「哲学」兼1→3
「芸術論」兼1→3
「文化の歴史」兼1→6
「音楽」兼1→2
「倫理学」兼1→3
「文学」兼1→2
「歴史学」兼1→7
「文化人類学」兼1→3
「言語論」兼1→2
「社会学」兼3→7
「法学」兼1→4
「日本国憲法」兼1→4
「現代の政治」兼1→5
「東北地域論」兼0→7
「数理の科学」兼6→8
「自然の科学」兼1→5
「先端科学と技術」兼3→6
「AI社会の基礎」兼4→9
- ・統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより履修可能なコマ数が増加したため、次の科目の「専任教員等の配置」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。
「科学的思考の基礎」教授0→1、准教授0→1、兼6→10
「環境の科学」教授1→2、兼0→2
- ・統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより履修可能なコマ数が増加したため、次の科目の「専任教員等の配置」欄を変更。
「地理学」准教授2→3
- ・統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより、次の科目の「配当年次」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。
「キャリア形成の探究」1前→1前・後、兼1→4
- ・教育課程編成上の都合により、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
「聖書を学ぶ」兼1→3
「キリスト教の歴史と思想」兼1→2
「心理学」兼9→10
「経済学」兼4→2
- ・教養教育センターが習熟度によるクラス編成を実施し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
「英語ⅠA」兼1→12
「英語ⅠB」兼1→12
- ・教養教育センターが第二外国語に関して少人数クラス編成を導入し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
「ドイツ語ⅠA」兼1→9
「フランス語ⅠA」兼2→7
「中国語ⅠA」兼1→11
「韓国・朝鮮語ⅠA」兼1→8
「ドイツ語ⅠB」兼1→8
「フランス語ⅠB」兼2→5
「中国語ⅠB」兼1→8
「韓国・朝鮮語ⅠB」兼1→3

【令和6年度】

- ・開講期の見直しにより、次の科目の「配当年次」欄を変更
「歴史の中の東北」2前→2後
- ・統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、全学共通科目の位置付けとしたことにより履修可能なコマ数が増加したため、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。
「共生社会と倫理」兼3→5
「科学技術社会と倫理」兼3→6
「データ活用による探究」兼2→9
「地域課題の探究」兼1→4
- ・教育課程編成上の都合により、次の科目の「専任教員等の配置」を変更。
「地理学」准教授3→2
- ・教育課程編成上の都合により、次の科目の「専任教員等の配置」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。
「科学的思考の基礎」教授1→0、准教授1→0、兼10→11

・教育課程編成上の都合により、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。 「よき社会生活のためにA（法律）」兼5→4 「よき社会生活のためにC（健康）」兼9→8 「リーディング&ライティング」兼16→15 「統計的思考の基礎」兼7→6 「課題探究演習」兼18→21 「文化人類学」兼3→4 「心理学」兼10→7 「社会学」兼7→6 「法学」兼4→2 「日本国憲法」兼4→3 「現代の政治」兼5→3 「数理の科学」兼8→3 「環境の科学」兼2→1 「先端科学と技術」兼6→4 「AI社会の基礎」兼9→8 「スポーツ実技B」兼7→6 「基礎コンピュータ」兼0→2 「アジア史概論Ⅰ」兼2→1 「アジア史概論Ⅱ」兼2→1 ・教養教育センターが習熟度によるクラス編成を実施し、開講コマを増やしたことにより、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。 「英語ⅠA」兼12→13 「英語ⅠB」兼12→13 「英語ⅡA」兼1→12 「英語ⅡB」兼1→12 ・教養教育センターが第二外国語に関して開講コマ数を見直したことにより、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。 「ドイツ語ⅠA」兼9→7 「フランス語ⅠA」兼7→4 「中国語ⅠA」兼11→8 「韓国・朝鮮語ⅠA」兼8→7 「ドイツ語ⅠB」兼8→5 「フランス語ⅠB」兼5→4 「中国語ⅠB」兼8→6 「韓国・朝鮮語ⅠB」兼3→4 「フランス語ⅡA」兼2→1 「中国語ⅡA」兼1→2 「フランス語ⅡB」兼2→1 「フランス語コミュニケーションB」兼2→1 ・履修者数増加の理由により開講コマを増やしたため、次の科目の「兼任・兼任」欄を変更。 「英語コミュニケーション」兼2→3 「体育講義」兼1→2 ・2024年4月新規教員採用のため、次の科目の「専任教員等の配置」欄を変更。 「社会と産業基礎論」准教授2→3 「地域コミュニティ学基礎実習」准教授5→6 「地域コミュニティ学発展実習」准教授5→6 「地域データ分析法」准教授0→1 「健康と福祉基礎論」講師0→1 「教育心理学」講師0→1 ・2024年4月新規教員採用のため、次の科目の「専任教員等の配置」欄及び「兼任・兼任」欄を変更。 「東北地域論」准教授1→2、兼7→6 「地域と自然」准教授1→2、兼1→0 ・2024年4月昇任による職位変更のため、次の科目の「専任教員等の配置」欄を変更。 「人と自然基礎論」教授2→3、准教授3→2 「地域コミュニティ学演習Ⅰ」教授10→11、准教授7→6 「地域コミュニティ学演習Ⅱ」教授10→11、准教授7→6 「総合研究Ⅰ」教授10→11、准教授7→6 「総合研究Ⅱ」教授10→11、准教授7→6 「SDGsとシティズンシップ論」教授0→1、准教授1→0 「社会・地理歴史科教育法（概論・理論）」教授0→1、准教授1→0 「社会・公民科教育法（概論・理論）」教授0→1、准教授1→0 「社会・地理歴史科教育法（実践）」教授0→1、准教授1→0 「社会・公民科教育法（実践）」教授0→1、准教授1→0 「社会・地理歴史科教育法（応用）」教授0→1、准教授1→0 「社会・公民科教育法（応用）」教授0→1、准教授1→0 「教育実習Ⅰ」教授0→1、准教授1→0 「教育実習Ⅱ」教授0→1、准教授1→0 「教職実践演習（中・高）」教授2→3、准教授2→1
--

(注) ・ 2（１）—① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
15 科目	179 科目	1 科目	195 科目	15 科目 [0]	179 科目 [0]	1 科目 [0]	195 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	海外研究 A	4	2	一般	選択	アメリカの受入先大学の都合により受入れが不可となったため。代替措置無し。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目の「海外研究 A」は留学科目であるが、アメリカの受入先大学が受入れ不可となり閉講せざるをえなかった。学生には、学生ポータル、大学要覧等を通じて周知している。今後の方針は、新たに設置されたグローバル教育センターにおいて協定校と協議を行う予定である。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{195} = \boxed{0.51} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の売買による修正 (5)			
	校 舎 敷 地	162,829.85㎡ 167,410.86㎡ 167,415.30㎡	0㎡	0㎡	162,829.85㎡ 167,410.86㎡ 167,415.30㎡	校地の売却による修正 (6)			
	運動場用地	59,142.06㎡	0㎡	0㎡	59,142.06㎡				
	小 計	221,971.91㎡ 226,662.91㎡ 226,667.36㎡	0㎡	0㎡	221,971.91㎡ 226,662.91㎡ 226,667.36㎡				
	そ の 他	126,712.00㎡ 126,007.07㎡	0㎡	0㎡	126,712.00㎡ 126,007.07㎡				
	合 計	348,683.91㎡ 353,264.91㎡ 352,664.43㎡	0㎡	0㎡	348,683.91㎡ 353,264.91㎡ 352,664.43㎡				
(2) 校 舎	専 用	147,978.83㎡ 148,691.46㎡ 150,453.66㎡	0㎡	0㎡	147,978.83㎡ 148,691.46㎡ 150,453.66㎡	登記簿面積の確定等による修正(5) 建物の解体、用途の変更による修正(6)			
	(147,978.83㎡) (148,691.46㎡) (150,453.66㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(147,978.83㎡) (148,691.46㎡) (150,453.66㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	110室 404室 99室	29室 33室 40室	190室 186室	7室 44室	12室 (補助職員47人)			
				(補助職員89人)		(補助職員47人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		専任教員の新規採用による増(6)			
		地域総合学部 地域コミュニティ学科		19 47 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	[大学全体での共用分] (図書) 1,052,911冊 2,023,028冊 (雑誌) 32,696種 29,435種 (電子ジャーナル) 17,045点 4,769点 (視聴覚資料) 17,241点 32,540点 機械・器具、標本は学部 単位での特定不能なため、 大学全体の数 図書の増加は新規購入によるもの。 学術雑誌の減少はタイトル見直しによる 契約種数減少。視聴覚資料の増加は 見直しによるもの。(6)	
	地域総合学部 地域コミュニティ学科	200,251 [66,844] 184,999 [55,751]	12,177 [12,063] 20,523 [20,423]	12,079 [12,020] 20,439 [20,380]	530 415	3,017	84		
		(200,251 [66,844]) (184,999 [55,751])	(12,177 [12,063]) (20,523 [20,423])	(12,079 [12,020]) (20,439 [20,380])	530 415	(3,017)	(84)		
	計	200,251 [66,844] 184,999 [55,751]	12,177 [12,063] 20,523 [20,423]	12,079 [12,020] 20,439 [20,380]	530 415	3,017	84		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 登記簿面積の確定等による修正(5) 閲覧座席数は対象フロア見直しによる減少(6)		
	17,616.79㎡ 17,671.64㎡		912 1146		1,522,222				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 仕様の変更による修正(6)		
	9,197.65㎡		野球場2面、サッカー場1面多目的コート(人工芝)、ラグビー場1面、トラック1面ほか						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	研究費等について、算出方法の誤りによる修正(5) 研究費等について、実績額及び見込額の見直しに基づく変更(6)
		教員1人当り研究費等	422千円 374千円 1,613千円	446千円 374千円 1,613千円	図書購入費	0千円	12,889千円	12,889千円	
		共同研究費等	500千円 221千円 442千円	798千円 221千円 442千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,414千円	1,144千円	1,144千円	1,144千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、私立大学等経常費補助金及び資産運用収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	東 北 学 院 大 学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考		
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度				
文学部	4	450	3年次 5	1810	-	1.04	1.01	-	昭和39	-			
英文学科	4	150	3年次 3	606	学士 (文学)	1.02	1.00	-	昭和39		令和5年度入学生より入学定員変更(180→150)		
総合人文学科	4	60	3年次 1	242	学士 (文学)	1.04	1.01	-	平成23	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	編入学定員変更(2年次△6 3年次△9)		
歴史学科	4	170	3年次 1	682	学士 (文学)	1.04	1.02	-	平成17		同上(50→60)		
教育学科	4	70	-	280	学士 (教育学)	1.05	1.03	-	平成30		編入学定員変更(3年次△1)		
経済学部	4	430	-	1720	-	1.04	1.00	-		-	編入学定員変更(2年次△2 3年次△2)		
経済学科	4	430	-	1720	学士 (経済学)	1.04	1.00	-	昭和39		令和5年度入学生より入学定員変更(180→150)		
共生社会経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	-	-	平成21	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	編入学定員変更(2年次△6 3年次△9)		
経営学部	4	341	3年次 2	1368	-	1.03	1.01	-	平成21	-	令和5年度入学生より入学定員変更(50→70)		
経営学科	4	341	3年次 2	1368	学士 (経営学)	1.03	1.01	-	平成21	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(440→430)		
法学部	4	355	-	1420	-	1.05	1.03	-	昭和40	-	編入学定員変更(2年次△6 3年次△6)		
法律学科	4	355	-	1420	学士 (法学)	1.05	1.03	-	昭和40	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(358→355)		
工学部	4	360	-	1440	-	1.01	0.99	-	昭和37	-	編入学定員変更(2年次△4 3年次△6)		
機械知能工学科	4	115	-	460	学士 (工学)	1.03	1.01	-	平成18		令和5年度入学生より入学定員変更(110→115)		
電気電子工学科	4	130	-	520	学士 (工学)	1.01	0.98	-	平成29	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	編入学定員変更(3年次△6)		
環境建設工学科	4	115	-	460	学士 (工学)	1.01	0.99	-	平成18		令和5年度入学生より入学定員変更(110→130)		
情報基盤工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成29		編入学定員変更(3年次△5)		
教養学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成1	-	令和5年度入学生より学生募集停止		
人間科学科	4	-	-	-	学士 (教養学)	-	-	-	平成17		令和5年度入学生より入学定員変更(110→115)		
言語文化学科	4	-	-	-	学士 (教養学)	-	-	-	平成17	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	編入学定員変更(3年次△6)		
情報科学科	4	-	-	-	学士 (教養学)	-	-	-	平成17	宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	令和5年度入学生より入学定員変更(110→115)		
地域構想学科	4	-	-	-	学士 (教養学)	-	-	-	平成17		編入学定員変更(3年次△6)		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考
地域総合学部		295	－	1180	－	1.05	1.04	－		－	
地域コミュニティ学科	4	150	－	600	学士 (地域学)	1.07	1.06	－	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号	
政策デザイン学科	4	145	－	580	学士 (政策学)	1.04	1.03	－	令和5	宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	
情報学部	4	190	－	760	－	1.06	1.06	－		－	
データサイエンス学科	4	190	－	760	学士 (情報学)	1.06	1.06	－	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	
人間科学部	4	165	－	660	－	1.10	1.09	－		－	
心理行動科学科	4	165	－	660	学士 (人間科学)	1.10	1.09	－	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	
国際学部	4	130	－	520	－	1.03	1.03	－		－	
国際教養学科	4	130	－	520	学士 (国際学)	1.03	1.03	－	令和5	宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 宮城県仙台市若林区清水小路3番1号	
大学全体		2716	3年次 7	10878	－	－	－	－	－	－	

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜地域総合学部 地域コミュニティ学科＞

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科長)	菅原(山尾) 真枝 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		社会福祉論 健康と福祉基礎論※ 地域生活論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 福祉社会論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	岩動 志乃夫 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(地理学)
		東北地域論 社会と産業基礎論※ 地誌学要説 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 経済地理学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	伊藤 晶文 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		人と自然基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域システム論※ 地形学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 測量学実習 測量学
専	教授	大迫 章史 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※
		社会と産業基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域と教育の歴史 現代教職論 教育課程論 教職実践演習(中・高)
専	教授	佐久間 政広 (65)(高) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学 社会と産業基礎論※ 共同体と市民社会 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域社会論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科長)	菅原(山尾) 真枝 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		社会福祉論 健康と福祉基礎論※ 地域生活論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 福祉社会論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	岩動 志乃夫 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(地理学)
		東北地域論 社会と産業基礎論※ 地誌学要説 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 経済地理学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	伊藤 晶文 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		環境の科学 人と自然基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域システム論※ 地形学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 測量学実習 測量学
専	教授	大迫 章史 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※
		社会と産業基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域と教育の歴史 現代教職論 教育課程論 教職実践演習(中・高)
専	教授	佐久間 政広 (66)(高) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学 社会と産業基礎論※ 共同体と市民社会 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域社会論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科長)	菅原(山尾) 真枝 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		社会福祉論 健康と福祉基礎論※ 地域生活論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 福祉社会論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	岩動 志乃夫 (62) ＜令和5年4月＞ 博士(地理学)
		東北地域論 社会と産業基礎論※ 地誌学要説 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 経済地理学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	伊藤 晶文 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		環境の科学 人と自然基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域システム論※ 地形学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 測量学実習 測量学
専	教授	大迫 章史 (51) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※
		社会と産業基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域と教育の歴史 現代教職論 教育課程論 教職実践演習(中・高)
専	教授	佐久間 政広 (67)(高) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学 社会と産業基礎論※ 共同体と市民社会 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域社会論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習

専	教授	清水 貴裕 (48) <令和5年4月> 博士（心理学）
		健康と福祉基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 社会コミュニケーション論 生徒指導・進路指導の理論と方法※ 教育相談の理論と方法 教職実践演習（中・高）
専	教授	原 義彦 (56) <令和5年4月> 博士（学術）
		健康と福祉基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 教育調査実習A 教育調査実習B 社会教育経営論※
専	教授	平吹 喜彦 (65)（高） <令和5年4月> 理学博士
		環境の科学 人と自然基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 生態学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	増子 正 (64)（高） <令和5年4月> 修士（経済学）
		社会福祉論 健康と福祉基礎論※ 地域生活論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域福祉論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	柳井 雅也 (65)（高） <令和5年4月> 地理学修士
		地理学 東北地域論 社会と産業基礎論※ 地理学要説 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域政策論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 海外地域実習【隔年】
専	准教授	泉山 靖人 (52) <令和5年4月> 修士（教育学）※
		健康と福祉基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域と教育支援 教育と社会 教育の制度と経営 教職実践演習（中・高）

専	教授	清水 貴裕 (48) <令和5年4月> 博士（心理学）
		健康と福祉基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 社会コミュニケーション論 生徒指導・進路指導の理論と方法※ 教育相談の理論と方法 教職実践演習（中・高）
専	教授	原 義彦 (56) <令和5年4月> 博士（学術）
		健康と福祉基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 教育調査実習A 教育調査実習B 社会教育経営論※
専	教授	平吹 喜彦 (65)（高） <令和5年4月> 理学博士
		科学的思考の基礎 環境の科学 人と自然基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 生態学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	増子 正 (64)（高） <令和5年4月> 修士（経済学）
		社会福祉論 健康と福祉基礎論※ 地域生活論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域福祉論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	柳井 雅也 (65)（高） <令和5年4月> 地理学修士
		地理学 東北地域論 社会と産業基礎論※ 地理学要説 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域政策論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 海外地域実習【隔年】
専	准教授	泉山 靖人 (52) <令和5年4月> 修士（教育学）※
		健康と福祉基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域と教育支援 教育と社会 教育の制度と経営 教職実践演習（中・高）

専	教授	清水 貴裕 (49) <令和5年4月> 博士（心理学）
		健康と福祉基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 社会コミュニケーション論 生徒指導・進路指導の理論と方法※ 教育相談の理論と方法 教職実践演習（中・高）
専	教授	原 義彦 (57) <令和5年4月> 博士（学術）
		健康と福祉基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 社会教育実習Ⅰ 社会教育実習Ⅱ 教育調査実習A 教育調査実習B 社会教育経営論※
専	教授	平吹 喜彦 (66)（高） <令和5年4月> 理学博士
		環境の科学 人と自然基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 生態学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	増子 正 (65)（高） <令和5年4月> 修士（経済学）
		社会福祉論 健康と福祉基礎論※ 地域生活論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域福祉論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
専	教授	柳井 雅也 (66)（高） <令和5年4月> 地理学修士
		地理学 東北地域論 社会と産業基礎論※ 地理学要説 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域政策論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 海外地域実習【隔年】
専	准教授	泉山 靖人 (53) <令和5年4月> 修士（教育学）※
		健康と福祉基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域と教育支援 教育と社会 教育の制度と経営 教職実践演習（中・高）

専	准教授	遠藤 尚 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	遠藤 尚 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	遠藤 尚 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		地理学 社会と産業基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域文化論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 海外地域実習【隔年】			地理学 社会と産業基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域文化論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 海外地域実習【隔年】			地理学 社会と産業基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域文化論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 海外地域実習【隔年】
		大澤 史伸 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（農学）			大澤 史伸 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（農学）			大澤 史伸 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（農学）
		社会福祉論 健康と福祉基礎論※ 市民活動論 地域生活論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ NPO論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習			社会福祉論 健康と福祉基礎論※ 市民活動論 地域生活論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ NPO論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習			社会福祉論 健康と福祉基礎論※ 市民活動論 地域生活論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ NPO論 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
		品田 光春 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）			品田 光春 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）			品田 光春 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
専	准教授	地理学 東北地域論 社会と産業基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域資源保全論 地域システム論※ 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習	専	准教授	地理学 東北地域論 社会と産業基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域資源保全論 地域システム論※ 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習	専	准教授	地理学 東北地域論 社会と産業基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域資源保全論 地域システム論※ 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習
		坪田 益美 (43) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）			坪田 益美 (43) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）			坪田 益美 (44) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		人と自然基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ SDGsとシティズンシップ論 社会・地理歴史科教育法（概論・理論） 社会・公民科教育法（概論・理論） 社会・地理歴史科教育法（実践） 社会・公民科教育法（実践） 社会・地理歴史科教育法（応用） 社会・公民科教育法（応用） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習（中・高）			人と自然基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ SDGsとシティズンシップ論 社会・地理歴史科教育法（概論・理論） 社会・公民科教育法（概論・理論） 社会・地理歴史科教育法（実践） 社会・公民科教育法（実践） 社会・地理歴史科教育法（応用） 社会・公民科教育法（応用） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習（中・高）			人と自然基礎論※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ SDGsとシティズンシップ論 社会・地理歴史科教育法（概論・理論） 社会・公民科教育法（概論・理論） 社会・地理歴史科教育法（実践） 社会・公民科教育法（実践） 社会・地理歴史科教育法（応用） 社会・公民科教育法（応用） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習（中・高）
		目代 邦康 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）			目代 邦康 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）			目代 邦康 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		環境の科学 人と自然基礎論※ 地域と自然※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 気候学 環境マネジメント 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 海外地域実習【隔年】			地理学 環境の科学 人と自然基礎論※ 地域と自然※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 気候学 環境マネジメント 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 海外地域実習【隔年】			環境の科学 人と自然基礎論※ 地域と自然※ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 気候学 環境マネジメント 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 海外地域実習【隔年】
専	准教授	柳澤 英明 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	柳澤 英明 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	柳澤 英明 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		人と自然基礎論※ 基礎コンピュータ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域防災科学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 GIS実習			科学的思考の基礎 人と自然基礎論※ 基礎コンピュータ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域防災科学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 GIS実習			人と自然基礎論※ 基礎コンピュータ 地域コミュニティ学演習Ⅰ 地域コミュニティ学演習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 地域防災科学 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 GIS実習

兼任	教授	吉田 新 (44) ＜令和5年4月＞ DOCTORIS THEOLOGIAE (ドイツ連邦共和国) 聖書を学ぶ
兼任	教授	原田 浩司 (49) ＜令和5年4月＞ Master of Theology (英国) キリスト教の歴史と思想
兼任	教授	出村 みや子 (67) ＜令和5年4月＞ 博士 (文学) キリスト教学 A
兼任	教授	川島 堅二 (64) ＜令和5年4月＞ 博士 (文学) キリスト教学 B キリスト教学 D
兼任	教授	木村 純二 (52) ＜令和5年4月＞ 博士 (文学) キリスト教学 C
兼任	教授	楊 世英 (62) ＜令和5年4月＞ 修士 (経済学) ※ 共生社会と倫理 中国語コミュニケーション A 中国語コミュニケーション B
兼任	教授	斎藤 修 (63) ＜令和5年4月＞ 博士 (工学) 科学技術社会と倫理
兼任	教授	小澤 哲也 (50) ＜令和5年4月＞ 博士 (工学) 科学技術社会と倫理
兼任	教授	中村 雄一 (68) ＜令和5年4月＞ 法学修士 よき社会生活のために A (法律)

兼任	教授	出村 みや子 (68) ＜令和5年4月＞ 博士 (文学) キリスト教学 A
兼任	教授	川島 堅二 (64) ＜令和5年4月＞ 博士 (文学) キリスト教学 B キリスト教学 D
兼任	教授	木村 純二 (52) ＜令和5年4月＞ 博士 (文学) 聖書を学ぶ キリスト教の歴史と思想 キリスト教学 C
兼任	教授	楊 世英 (62) ＜令和5年4月＞ 修士 (経済学) ※ 中国語 I A 中国語 I B 共生社会と倫理 中国語コミュニケーション A 中国語コミュニケーション B
兼任	教授	斎藤 修 (63) ＜令和5年4月＞ 博士 (工学) 先端科学と技術 ※ 科学技術社会と倫理
兼任	教授	小澤 哲也 (50) ＜令和5年4月＞ 博士 (工学) 科学技術社会と倫理
兼任	教授	中村 雄一 (68) ＜令和5年4月＞ 法学修士 よき社会生活のために A (法律)
兼任	教授	石垣 茂光 (67) ＜令和5年4月＞ 博士 (法学) よき社会生活のために A (法律)
兼任	教授	菊地 雄介 (69) ＜令和5年4月＞ 法学修士 よき社会生活のために A (法律)

専	准教授	庄子 元 (38) ＜令和6年4月＞ 博士 (理学) 社会と産業基礎論 ※ 地域コミュニティ学基礎実習 地域コミュニティ学発展実習 地域データ分析法 地域と自然 ※ 東北地域論
専	講師	一柳 貴博 (34) ＜令和6年4月＞ 博士 (教育学) 教育心理学 ※ 健康と福祉基礎論 ※
兼任	教授	出村 みや子 (69) ＜令和5年4月＞ 博士 (文学) キリスト教学 A
兼任	教授	川島 堅二 (65) ＜令和5年4月＞ 博士 (文学) キリスト教の歴史と思想 聖書を学ぶ キリスト教学 B キリスト教学 D
兼任	教授	木村 純二 (53) ＜令和5年4月＞ 博士 (文学) キリスト教学 C
兼任	教授	楊 世英 (63) ＜令和5年4月＞ 修士 (経済学) ※ 中国語 I A ※ 中国語 I B 共生社会と倫理 中国語コミュニケーション A 中国語コミュニケーション B
兼任	教授	斎藤 修 (64) ＜令和5年4月＞ 博士 (工学) 科学技術社会と倫理 ※
兼任	教授	小澤 哲也 (51) ＜令和5年4月＞ 博士 (工学) 科学技術社会と倫理 ※
兼任	教授	石垣 茂光 (68) ＜令和5年4月＞ 博士 (法学) よき社会生活のために A (法律)
兼任	教授	菊地 雄介 (70) ＜令和5年4月＞ 法学修士 よき社会生活のために A (法律)

兼任	教授	伊鹿倉 正司 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学） よき社会生活のためにB（福祉）
兼任	教授	松尾 行雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 情報リテラシー 科学的思考の基礎
兼任	教授	神林 博史 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 統計的思考の基礎
兼任	教授	菅原 研 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学） 科学的思考の基礎 AI社会の基礎
兼任	教授	牧野 憐也 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 科学的思考の基礎 生命の科学

兼任	教授	佐藤 英世 (67) ＜令和5年4月＞ 法学修士※ よき社会生活のためにA（法律）
兼任	教授	伊鹿倉 正司 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学） よき社会生活のためにB（福祉）
兼任	教授	坂本 謙 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（障害科学） よき社会生活のためにC（健康）※ スポーツ実技B
兼任	教授	高橋 信二 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（体育科学） よき社会生活のためにC（健康）※
兼任	教授	郷古 学 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（工学） リーディング&ライティング AI社会の基礎
兼任	教授	佐々木 郁子 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学） 課題探究演習 リーディング&ライティング
兼任	教授	藤 祐司 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（学術） リーディング&ライティング
兼任	教授	中村 敬博 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（理学） 課題探究演習 リーディング&ライティング 自然の科学
兼任	教授	松尾 行雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 情報リテラシー 科学的思考の基礎
兼任	教授	神林 博史 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 統計的思考の基礎 社会学
兼任	教授	仙田 幸子 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（社会学）※ 統計的思考の基礎
兼任	教授	菅原 研 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学） 科学的思考の基礎 AI社会の基礎
兼任	教授	牧野 憐也 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 科学的思考の基礎 生命の科学

兼任	教授	佐藤 英世 (68) ＜令和5年4月＞ 法学修士※ よき社会生活のためにA（法律）
兼任	教授	伊鹿倉 正司 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学） 共生社会と倫理 よき社会生活のためにB（福祉）
兼任	教授	坂本 謙 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（障害科学） よき社会生活のためにC（健康）※ スポーツ実技B
兼任	教授	高橋 信二 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（体育科学） よき社会生活のためにC（健康）※
兼任	教授	郷古 学 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（工学） リーディング&ライティング AI社会の基礎
兼任	教授	佐々木 郁子 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学） 課題探究演習 リーディング&ライティング
兼任	教授	藤 祐司 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（学術） リーディング&ライティング
兼任	教授	中村 敬博 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（理学） 課題探究演習 データ活用による探究 リーディング&ライティング 自然の科学
兼任	教授	松尾 行雄 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 情報リテラシー 科学的思考の基礎
兼任	教授	神林 博史 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 統計的思考の基礎
兼任	教授	仙田 幸子 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（社会学）※ 統計的思考の基礎
兼任	教授	菅原 研 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学） 科学的思考の基礎 AI社会の基礎
兼任	教授	牧野 憐也 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 科学的思考の基礎 生命の科学

兼任	教授	河西 晃祐 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（史学）
		東北学院史の探究 歴史学
兼任	教授	岩谷 幸雄 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		データ活用による探究
兼任	教授	金 義鎮 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		データ活用による探究
兼任	教授	千葉 昭彦 (63) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		課題探究演習
兼任	教授	千葉 智則 (62) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		課題探究演習 スポーツ実技B 体育講義
兼任	教授	信太 光郎 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		哲学 文化の歴史
兼任	教授	今井（林） 奈緒子 (63) ＜令和5年4月＞ Hochschulabschlussprüfung im Fach Orgel （ドイツ連邦共和国）
		音楽
兼任	教授	津上 誠 (67) ＜令和5年4月＞ 社会学修士※
		文化人類学

兼任	教授	河西 晃祐 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（史学）
		東北学院史の探究
兼任	教授	岩谷 幸雄 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		データ活用による探究
兼任	教授	金 義鎮 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		データ活用による探究
兼任	教授	千葉 昭彦 (63) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		課題探究演習
兼任	教授	千葉 智則 (62) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		課題探究演習 スポーツ実技B 体育講義
兼任	教授	追藤 陸幸 (48) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）※
		課題探究演習
兼任	教授	熊谷 正朗 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		課題探究演習
兼任	教授	櫻井 一弥 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		課題探究演習
兼任	教授	渡辺 通子 (64) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※
		課題探究演習
兼任	教授	信太 光郎 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		クリティカル・シンキング 哲学 文化の歴史
兼任	教授	今井（林） 奈緒子 (63) ＜令和5年4月＞ Hochschulabschlussprüfung im Fach Orgel （ドイツ連邦共和国）
		課題探究演習 文化の歴史 音楽
兼任	教授	渡辺 昭一 (69) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		歴史学
兼任	教授	津上 誠 (67) ＜令和5年4月＞ 社会学修士※
		文化人類学

兼任	教授	河西 晃祐 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（史学）
		東北学院史の探究
兼任	教授	岩谷 幸雄 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		データ活用による探究
兼任	教授	金 義鎮 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		データ活用による探究
兼任	教授	千葉 昭彦 (64) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		課題探究演習※
兼任	教授	千葉 智則 (63) ＜令和5年4月＞ 体育学修士
		課題探究演習 スポーツ実技B 体育講義
兼任	教授	熊谷 正朗 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		課題探究演習
兼任	教授	櫻井 一弥 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		課題探究演習※
兼任	教授	信太 光郎 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		クリティカル・シンキング 哲学 文化の歴史
兼任	教授	今井（林） 奈緒子 (64) ＜令和5年4月＞ Hochschulabschlussprüfung im Fach Orgel （ドイツ連邦共和国）
		課題探究演習 文化の歴史 音楽
兼任	教授	渡辺 昭一 (70) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		歴史学
兼任	講師	津上 誠 (68) ＜令和5年4月＞ 社会学修士※
		文化人類学

兼任	教授	加藤 健二 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		心理学
兼任	教授	櫻井 研三 (66) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
兼任	教授	萩原 俊彦 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（心理学）
		心理学 教育心理学※
兼任	教授	平野 幹雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		心理学 教育心理学※ 特別支援教育論 教職実践演習（中・高） 介護体験実習
兼任	教授	福野 光輝 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
兼任	教授	片瀬 一男 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	教授	鈴木 努 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		社会学
兼任	教授	鈴木 好和 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		経営学
兼任	教授	矢口 義教 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		経営学
兼任	教授	篠崎 剛 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		経済学 国際経済学
兼任	教授	若生 徹 (66) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		経済学
兼任	教授	宮川 基 (50) ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		法学

兼任	教授	加藤 健二 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		心理学
兼任	教授	櫻井 研三 (66) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
兼任	教授	萩原 俊彦 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（心理学）
		心理学 教育心理学※
兼任	教授	平野 幹雄 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育心理学※ 特別支援教育論 教職実践演習（中・高） 介護体験実習
兼任	教授	福野 光輝 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
兼任	教授	片瀬 一男 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		社会学
兼任	教授	鈴木 努 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		社会学
兼任	教授	鈴木 好和 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		経営学
兼任	教授	矢口 義教 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		課題探究演習 リーディング&ライティング
兼任	教授	篠崎 剛 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		経済学 国際経済学
兼任	教授	宮川 基 (50) ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		法学
兼任	教授	陶久 利彦 (69) ＜令和5年4月＞ 法学修士
		法学
兼任	教授	辻田 芳幸 (55) ＜令和5年4月＞ 修士（法学）
		法学

兼任	教授	加藤 健二 (67) ＜令和5年4月＞ 文学修士※
		心理学
兼任	教授	櫻井 研三 (67) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		心理学
兼任	教授	萩原 俊彦 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（心理学）
		心理学 教育心理学※
兼任	教授	平野 幹雄 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育心理学※ 特別支援教育論 教職実践演習（中・高） 介護体験実習
兼任	教授	鈴木 努 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		社会学
兼任	教授	鈴木 好和 (69) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		経営学
兼任	教授	矢口 義教 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		課題探究演習
兼任	教授	篠崎 剛 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		経済学 国際経済学
兼任	教授	宮川 基 (51) ＜令和5年4月＞ 学士（法学）
		法学

兼任	教授	木下 淑恵 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		現代の政治
兼任	教授	石田 弘隆 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		数理の科学
兼任	教授	嶋 敏之 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		先端科学と技術
兼任	教授	星 朗 (60) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		先端科学と技術
兼任	教授	宮内 啓介 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（農学）
		先端科学と技術
兼任	教授	伊藤 則之 (64) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		AI社会の基礎
兼任	教授	松本(半田) 章代 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（情報学）
		AI社会の基礎
兼任	教授	坂内 昌徳 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	教授	塚本 信也 (59) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB

兼任	教授	木下 淑恵 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		現代の政治
兼任	教授	廣藤 誠 (69) ＜令和5年4月＞ 法学修士
		現代の政治
兼任	教授	三須 拓也 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（法学）
		現代の政治
兼任	教授	和田 正春 (57) ＜令和5年4月＞ 商学修士※
		東北地域論
兼任	教授	石田 弘隆 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		数理の科学
兼任	教授	嶋 敏之 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		先端科学と技術※
兼任	教授	星 朗 (61) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		先端科学と技術※
兼任	教授	宮内 啓介 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（農学）
		先端科学と技術※
兼任	教授	伊藤 則之 (64) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		AI社会の基礎
兼任	教授	松本(半田) 章代 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（情報学）
		AI社会の基礎
兼任	教授	坂内 昌徳 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		言語論 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	教授	塚本 信也 (59) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB

兼任	教授	木下 淑恵 (62) ＜令和5年4月＞ 修士（学術）
		現代の政治
兼任	教授	三須 拓也 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（法学）
		リーディング&ライティング 課題探究演習 現代の政治
兼任	教授	和田 正春 (58) ＜令和5年4月＞ 商学修士※
		東北地域論
兼任	教授	石田 弘隆 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		数理の科学
兼任	教授	嶋 敏之 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		先端科学と技術※
兼任	教授	星 朗 (62) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		先端科学と技術※
兼任	教授	宮内 啓介 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（農学）
		先端科学と技術※
兼任	教授	伊藤 則之 (65) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		AI社会の基礎
兼任	教授	松本(半田) 章代 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（情報学）
		AI社会の基礎
兼任	教授	坂内 昌徳 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）
		言語論 英語ⅠA 英語ⅠB
兼任	教授	塚本 信也 (60) ＜令和5年4月＞ 文学修士
		中国語ⅠA 中国語ⅠB 中国語ⅡA 中国語ⅡB 中国語ⅢA 中国語ⅢB

兼任	教授	金 永昊 (49) <令和5年4月> 博士 (文学)
		韓国・朝鮮語Ⅰ A 韓国・朝鮮語Ⅰ B 韓国・朝鮮語Ⅱ A 韓国・朝鮮語コミュニケーション A 韓国・朝鮮語Ⅱ B 韓国・朝鮮語コミュニケーション B 韓国・朝鮮語Ⅲ A 韓国・朝鮮語Ⅲ B
兼任	教授	佐伯 啓 (65) <令和5年4月> 文学修士※
		ドイツ語Ⅱ A ドイツ語Ⅱ B ドイツ語Ⅲ A ドイツ語Ⅲ B
兼任	教授	呉 国紅 (53) <令和5年4月> Doctor of ENGINEERING (中国)
		海外研究 A 海外研究 B 海外研究 C
兼任	教授	政岡 伸洋 (58) <令和5年4月> 博士 (文学)
		民俗学概論Ⅱ
兼任	教授	永田 英明 (57) <令和5年4月> 博士 (文学)
		歴史の中の東北※
兼任	教授	菊池 慶子 (67) <令和5年4月> 文学修士
		江戸から明治へ
兼任	教授	櫻井 康人 (51) <令和5年4月> 博士 (文学)
		イスラーム世界の形成と展開※

兼任	教授	金 永昊 (49) <令和5年4月> 博士 (文学)
		文学 韓国・朝鮮語Ⅰ A 韓国・朝鮮語Ⅰ B 韓国・朝鮮語Ⅱ A 韓国・朝鮮語コミュニケーション A 韓国・朝鮮語Ⅱ B 韓国・朝鮮語コミュニケーション B 韓国・朝鮮語Ⅲ A 韓国・朝鮮語Ⅲ B
兼任	教授	松谷 基和 (47) <令和5年4月> Ph.D in East Asian Studies (米國)
		韓国・朝鮮語Ⅰ A
兼任	教授	佐伯 啓 (66) <令和5年4月> 文学修士※
		リーディング&ライティング ドイツ語Ⅰ A ドイツ語Ⅰ B※ ドイツ語Ⅱ A ドイツ語Ⅱ B ドイツ語Ⅲ A ドイツ語Ⅲ B
兼任	教授	黒須 憲 (67) <令和5年4月> 修士 (体育学)
		スポーツ実技 A
兼任	教授	穴戸 隆之 (53) <令和5年4月> 博士 (医学)
		スポーツ実技 A
兼任	教授	松原 悟 (65) <令和5年4月> 体育学士
		スポーツ実技 A
兼任	教授	呉 国紅 (53) <令和5年4月> Doctor of ENGINEERING (中国)
		海外研究 A 海外研究 B 海外研究 C
兼任	教授	政岡 伸洋 (58) <令和5年4月> 博士 (文学)
		課題探究演習 民俗学概論Ⅱ
兼任	教授	永田 英明 (57) <令和5年4月> 博士 (文学)
		歴史の中の東北※
兼任	教授	菊池 慶子 (67) <令和5年4月> 文学修士
		江戸から明治へ
兼任	教授	櫻井 康人 (51) <令和5年4月> 博士 (文学)
		イスラーム世界の形成と展開※

兼任	教授	金 永昊 (50) <令和5年4月> 博士 (文学)
		文学 韓国・朝鮮語Ⅰ A 韓国・朝鮮語Ⅰ B 韓国・朝鮮語Ⅲ A 韓国・朝鮮語Ⅲ B
兼任	教授	佐伯 啓 (67) <令和5年4月> 文学修士※
		課題探究演習 ドイツ語Ⅲ A ドイツ語Ⅲ B
兼任	教授	穴戸 隆之 (54) <令和5年4月> 博士 (医学)
		スポーツ実技 A
兼任	教授	松原 悟 (66) <令和5年4月> 体育学士
		スポーツ実技 A
兼任	教授	呉 国紅 (54) <令和5年4月> Doctor of ENGINEERING (中国)
		海外研究 B 海外研究 C
兼任	教授	政岡 伸洋 (59) <令和5年4月> 博士 (文学)
		課題探究演習※ 民俗学概論Ⅰ
兼任	教授	永田 英明 (58) <令和5年4月> 博士 (文学)
		歴史の中の東北※
兼任	教授	櫻井 康人 (52) <令和5年4月> 博士 (文学)
		イスラーム世界の形成と展開※

兼任	教授	小沼 孝博 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		イスラーム世界の形成と展開※ アジア史概論Ⅰ※ アジア史概論Ⅱ※
兼任	教授	下倉 渉 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		アジア史概論Ⅰ※
兼任	教授	奥山 忠裕 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		経済学概論Ⅰ 経済学概論Ⅱ 政策分析論
兼任	教授	紺野 祐 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		道德教育の理論と方法
兼任	教授	稲垣 忠 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法※ 教育の方法と技術 ICT活用の理論と方法 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	佐藤 義則 (67) ＜令和5年4月＞ 博士(図書館情報学)
		図書館概論 図書館制度・経営論
兼任	准教授	定池 祐季 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		共生社会と倫理
兼任	准教授	崎山 俊雄 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学技術社会と倫理
兼任	准教授	岡崎 勲造 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(学校教育学)
		よき社会生活のためにC(健康)※
兼任	准教授	金井 嘉宏 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(臨床心理学)
		よき社会生活のためにC(健康)※ 心理学

兼任	教授	小沼 孝博 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		イスラーム世界の形成と展開※ アジア史概論Ⅰ※ アジア史概論Ⅱ※
兼任	教授	下倉 渉 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		アジア史概論Ⅰ※
兼任	教授	奥山 忠裕 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		経済学概論Ⅰ 経済学概論Ⅱ 政策分析論
兼任	教授	紺野 祐 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		道德教育の理論と方法
兼任	教授	稲垣 忠 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法※ 教育の方法と技術 ICT活用の理論と方法 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	佐藤 義則 (67) ＜令和5年4月＞ 博士(図書館情報学)
		図書館概論 図書館制度・経営論
兼任	准教授	定池 祐季 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		社会学 環境の科学 課題探究演習 共生社会と倫理
兼任	准教授	崎山 俊雄 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学技術社会と倫理
兼任	准教授	岡崎 勲造 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(学校教育学)
		よき社会生活のためにC(健康)※ スポーツ実技B
兼任	教授	金井 嘉宏 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(臨床心理学)
		よき社会生活のためにC(健康)※

兼任	教授	小沼 孝博 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		イスラーム世界の形成と展開※ アジア史概論Ⅱ
兼任	教授	下倉 渉 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		アジア史概論Ⅰ
兼任	教授	奥山 忠裕 (47) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		経済学概論Ⅰ 経済学概論Ⅱ 政策分析論
兼任	教授	紺野 祐 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		道德教育の理論と方法
兼任	教授	稲垣 忠 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法※ 教育の方法と技術 ICT活用の理論と方法 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	佐藤 義則 (68) ＜令和5年4月＞ 博士(図書館情報学)
		図書館制度・経営論
兼任	准教授	定池 祐季 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		社会学 環境の科学 課題探究演習 共生社会と倫理
兼任	准教授	崎山 俊雄 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		科学技術社会と倫理※
兼任	教授	岡崎 勲造 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(学校教育学)
		よき社会生活のためにC(健康)※
兼任	教授	金井 嘉宏 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(臨床心理学)
		よき社会生活のためにC(健康)※
兼任	教授	淡野 照義 (65) ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		データ活用による探究 科学技術社会と倫理※
兼任	教授	志子田 有光 (61) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		データ活用による探究
兼任	教授	吉川 英樹 (56) ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		データ活用による探究 先端科学と技術※

兼任	准教授	巖谷 睦月 (41) <令和5年4月> 博士（美術） 芸術論
兼任	准教授	原 貴子 (43) <令和5年4月> 博士（文学） 文学
兼任	准教授	岸 浩介 (47) <令和5年4月> 博士（情報科学） 言語論
兼任	准教授	井川 純一 (45) <令和5年4月> 博士（学術） 心理学
兼任	准教授	東海林 渉 (38) <令和5年4月> 博士（教育学） 心理学
兼任	准教授	小林 信重 (47) <令和5年4月> 博士（学術） 社会学
兼任	准教授	福見 裕介 (44) <令和5年4月> 博士（経済学） 経済学
兼任	准教授	宮本 拓郎 (42) <令和5年4月> Doctor of Philosophy (カナダ) 経済学
兼任	准教授	井上 正子 (53) <令和5年4月> 博士（文学） ジェンダー論 英語Ⅱ A 英語Ⅱ B
兼任	准教授	岩田(本田) 友紀子 (44) <令和5年4月> 博士（理学） 数理の科学
兼任	准教授	片方 江 (43) <令和5年4月> 博士（理学） 数理の科学
兼任	准教授	木村 敏幸 (47) <令和5年4月> 博士（学術） 数理の科学

兼任	准教授	森山 盛吉 (63) <令和5年4月> 文学修士 課題探究演習
兼任	准教授	巖谷 睦月 (41) <令和5年4月> 博士（美術） 芸術論 文化の歴史 課題探究演習
兼任	准教授	原 貴子 (43) <令和5年4月> 博士（文学） 文化の歴史 文学
兼任	教授	岸 浩介 (47) <令和5年4月> 博士（情報科学） 言語論
兼任	准教授	井川 純一 (45) <令和5年4月> 博士（学術） よき社会生活のためにC（健康）※ 統計的思考の基礎 心理学
兼任	准教授	東海林 渉 (38) <令和5年4月> 博士（教育学） よき社会生活のためにC（健康）※ 心理学
兼任	准教授	小林 信重 (47) <令和5年4月> 博士（学術） 社会学
兼任	准教授	宮本 拓郎 (42) <令和5年4月> Doctor of Philosophy (カナダ) 経済学
兼任	准教授	井上 正子 (53) <令和5年4月> 博士（文学） 文化の歴史 ジェンダー論 英語Ⅰ A 英語Ⅰ B 英語Ⅱ A 英語Ⅱ B
兼任	准教授	岩田(本田) 友紀子 (44) <令和5年4月> 博士（理学） 数理の科学
兼任	准教授	片方 江 (43) <令和5年4月> 博士（理学） 数理の科学
兼任	准教授	木村 敏幸 (47) <令和5年4月> 博士（学術） 数理の科学

兼任	准教授	森山 盛吉 (64) <令和5年4月> 文学修士 課題探究演習
兼任	准教授	巖谷 睦月 (42) <令和5年4月> 博士（美術） 芸術論 文化の歴史 課題探究演習
兼任	准教授	原 貴子 (44) <令和5年4月> 博士（文学） 課題探究演習 文化の歴史 文学
兼任	教授	岸 浩介 (48) <令和5年4月> 博士（情報科学） 言語論
兼任	教授	井川 純一 (46) <令和5年4月> 博士（学術） よき社会生活のためにC（健康）※ 心理学
兼任	准教授	東海林 渉 (39) <令和5年4月> 博士（教育学） よき社会生活のためにC（健康）※ 心理学
兼任	准教授	小林 信重 (48) <令和5年4月> 博士（学術） 社会学
兼任	講師	宮本 拓郎 (43) <令和5年4月> Doctor of Philosophy (カナダ) 経済学
兼任	准教授	井上 正子 (54) <令和5年4月> 博士（文学） 文化の歴史 ジェンダー論 英語Ⅰ A 英語Ⅰ B 英語Ⅱ A 英語Ⅱ B
兼任	准教授	片方 江 (44) <令和5年4月> 博士（理学） 数理の科学

兼任	准教授	佐藤 篤 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		数理の科学
兼任	准教授	星野 真樹 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		数理の科学
兼任	准教授	文 景楠 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		記号論理学
兼任	准教授	翠川 博之 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語コミュニケーションB フランス語ⅢA フランス語ⅢB
兼任	准教授	Flick Ulrich (41) ＜令和5年4月＞ DOKTORS DER PHILOSOPHIE （ドイツ連邦共和国）
		ドイツ語コミュニケーションA ドイツ語コミュニケーションB
兼任	准教授	佐久間 香子 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（地域研究）
		SDGs概論
兼任	准教授	金子 祥之 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）
		環境社会学 民俗学概論Ⅰ
兼任	准教授	竹井 英文 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		歴史の中の東北※
兼任	准教授	杵淵 文夫 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		ヨーロッパ史概論Ⅱ
兼任	准教授	清多 英羽 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育基礎論 教職実践演習（中・高）

兼任	准教授	佐藤 篤 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		数理の科学
兼任	准教授	星野 真樹 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
		数理の科学
兼任	准教授	文 景楠 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		クリティカル・シンキング 哲学 記号論理学
兼任	准教授	濱西 伸治 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		先端科学と技術※
兼任	准教授	物部 寛太郎 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（情報学）
		AI社会の基礎
兼任	准教授	翠川 博之 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		フランス語ⅠA※ フランス語ⅠB※ フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語コミュニケーションB フランス語ⅢA フランス語ⅢB
兼任	准教授	金 亨貞 (50) ＜令和5年4月＞ Ph. D. in Korean Language and Literature（韓国）
		韓国・朝鮮語ⅠB
兼任	准教授	Flick Ulrich (41) ＜令和5年4月＞ DOKTORS DER PHILOSOPHIE （ドイツ連邦共和国）
		ドイツ語コミュニケーションA ドイツ語コミュニケーションB
兼任	准教授	佐久間 香子 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（地域研究）
		SDGs概論
兼任	准教授	金子 祥之 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）
		環境社会学 民俗学概論Ⅰ
兼任	教授	竹井 英文 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		歴史の中の東北※
兼任	准教授	杵淵 文夫 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		ヨーロッパ史概論Ⅱ
兼任	教授	清多 英羽 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育基礎論 教職実践演習（中・高）

兼任	准教授	文 景楠 (40) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		クリティカル・シンキング 哲学 記号論理学
兼任	准教授	濱西 伸治 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		科学技術社会と倫理※
兼任	准教授	物部 寛太郎 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（情報学）
		AI社会の基礎
兼任	准教授	翠川 博之 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		フランス語ⅠA※ フランス語ⅠB※ フランス語ⅡA フランス語ⅡB フランス語ⅢA フランス語ⅢB
兼任	准教授	Flick Ulrich (42) ＜令和5年4月＞ DOKTORS DER PHILOSOPHIE （ドイツ連邦共和国）
		ドイツ語コミュニケーションA ドイツ語コミュニケーションB
兼任	准教授	佐久間 香子 (41) ＜令和5年4月＞ 博士（地域研究）
		SDGs概論
兼任	准教授	金子 祥之 (39) ＜令和5年4月＞ 博士（人間科学）
		環境社会学 民俗学概論Ⅱ
兼任	教授	竹井 英文 (41) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		歴史の中の東北※
兼任	准教授	杵淵 文夫 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		ヨーロッパ史概論Ⅱ
兼任	教授	清多 英羽 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		教育基礎論 教職実践演習（中・高）

兼任	講師	渡邊 圭 (37) ＜令和5年4月＞ 博士（社会福祉学） 科学的思考の基礎 地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究 AI社会の基礎
兼任	講師	臼倉 睦 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（心理学） 心理学
兼任	講師	武藤 敦士 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学） 社会福祉論
兼任	講師	門間 俊明 (64) ＜令和5年4月＞ 文学修士※ ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB
兼任	講師	宮本 直規 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語コミュニケーション A フランス語ⅡB フランス語コミュニケーション B フランス語ⅢA フランス語ⅢB
兼任	講師	佐藤 真紀 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（人文科学） 日本語ⅠA 日本語ⅠB
兼任	講師	多賀 良寛 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） アジア史概論Ⅱ※
兼任	講師	河村 真実 (31) ＜令和5年4月＞ 博士（政治学） 政治学概論

兼任	講師	西田 昌之 (44) ＜令和5年4月＞ Doctor of Philosophy（豪州） リーディング&ライティング クリティカル・シンキング
兼任	講師	渡邊 圭 (37) ＜令和5年4月＞ 博士（社会福祉学） 科学的思考の基礎 地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究 AI社会の基礎
兼任	講師	渡邊 蘭子 (31) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※ 課題探究演習
兼任	講師	臼倉(高川) 睦 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（心理学） よき社会生活のためにC（健康）※ 心理学
兼任	講師	松原 俊介 (31) ＜令和5年4月＞ 法務博士（専門職） 日本国憲法
兼任	准教授	武藤 敦士 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学） 社会福祉論
兼任	講師	森島 佑 (37) ＜令和5年4月＞ 博士（工学） 先端科学と技術※
兼任	講師	門間 俊明 (64) ＜令和5年4月＞ 文学修士※ リーディング&ライティング ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB※
兼任	講師	宮本 直規 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 文化の歴史 フランス語ⅠA※ フランス語ⅡA フランス語コミュニケーション A フランス語ⅡB フランス語コミュニケーション B フランス語ⅢA フランス語ⅢB
兼任	准教授	佐藤 真紀 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（人文科学） 日本語ⅠA 日本語ⅠB
兼任	講師	多賀 良寛 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） アジア史概論Ⅱ※
兼任	講師	河村 真実 (31) ＜令和5年4月＞ 博士（政治学） 政治学概論

兼任	講師	西田 昌之 (45) ＜令和5年4月＞ Doctor of Philosophy（豪州） クリティカル・シンキング 文化人類学
兼任	講師	渡邊 圭 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（社会福祉学） 地域ボランティア活動の探究 地域課題の探究 AI社会の基礎
兼任	准教授	臼倉(高川) 睦 (35) ＜令和5年4月＞ 博士（心理学） よき社会生活のためにC（健康）※
兼任	准教授	武藤 敦士 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学） 社会福祉論
兼任	講師	森島 佑 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（工学） データ活用による探究
兼任	講師	門間 俊明 (65) ＜令和5年4月＞ 文学修士※ リーディング&ライティング ドイツ語ⅠA※ ドイツ語ⅡA ドイツ語ⅡB
兼任	講師	宮本 直規 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 文化の歴史 フランス語ⅢA フランス語ⅢB
兼任	准教授	佐藤 真紀 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（人文科学） 日本語ⅠA 日本語ⅠB
兼任	講師	河村 真実 (32) ＜令和5年4月＞ 博士（政治学） 政治学概論

兼担	助教	伊藤 大介 (50) <令和5年4月> 博士 (文学)
		日本史概説

兼担	助教	伊藤 大介 (50) <令和5年4月> 博士 (文学)
		課題探究演習 歴史学 日本史概説
兼任	講師	竹迫 之 (56) <令和5年4月> 文学士
		聖書を学ぶ キリスト教の歴史と思想
兼任	講師	首藤 寛之 (45) <令和5年4月> 学士 (経済学)
		よき社会生活のためにB (福祉)
兼任	講師	高橋 大地 (36) <令和5年4月> 学士 (商学)
		よき社会生活のためにB (福祉)
兼任	講師	佐藤 静 (67) <令和5年4月> 博士 (情報科学)
		よき社会生活のためにC (健康) ※
兼任	講師	中川 (谷) 裕美 (32) <令和5年4月> 博士 (心理学)
		よき社会生活のためにC (健康) ※
兼任	講師	玉江 京子 (68) <令和5年4月> 理学修士
		統計的思考の基礎
兼任	講師	梅津 実 (67) <令和5年4月> 理学博士
		科学的思考の基礎 自然の科学
兼任	講師	兼下 英司 (48) <令和5年4月> 博士 (理学)
		科学的思考の基礎
兼任	講師	永弘 進一郎 (45) <令和5年4月> 博士 (理学)
		科学的思考の基礎
兼任	講師	恵山 (岡本) 郁 (51) <令和5年4月> 博士 (バイオサイエンス)
		科学的思考の基礎
兼任	講師	川田 真喜子 (55) <令和5年4月> 文学士
		キャリア形成の探究

兼担	助教	伊藤 大介 (51) <令和5年4月> 博士 (文学)
		リーディング&ライティング 課題探究演習 歴史学 日本史概説
兼任	講師	首藤 寛之 (46) <令和5年4月> 学士 (経済学)
		よき社会生活のためにB (福祉)
兼任	講師	高橋 大地 (37) <令和5年4月> 学士 (商学)
		よき社会生活のためにB (福祉)
兼任	講師	中川 (谷) 裕美 (33) <令和5年4月> 博士 (心理学)
		よき社会生活のためにC (健康) ※
兼任	講師	玉江 京子 (69) <令和5年4月> 理学修士
		統計的思考の基礎
兼任	講師	梅津 実 (68) <令和5年4月> 理学博士
		科学的思考の基礎 自然の科学
兼任	講師	兼下 英司 (49) <令和5年4月> 博士 (理学)
		科学的思考の基礎
兼任	講師	永弘 進一郎 (46) <令和5年4月> 博士 (理学)
		科学的思考の基礎
兼任	講師	恵山 (岡本) 郁 (52) <令和5年4月> 博士 (バイオサイエンス)
		科学的思考の基礎
兼任	講師	川田 真喜子 (56) <令和5年4月> 文学士
		キャリア形成の探究

兼任	講師	遠藤 健樹 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 倫理学

兼任	講師	瀬尾 千恵美 (58) ＜令和5年4月＞ 修士（学術） キャリア形成の探究
兼任	講師	林 修三 (47) ＜令和5年4月＞ 学士（法学） キャリア形成の探究
兼任	講師	川島 彬 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 哲学
兼任	講師	安藤 さやか (36) ＜令和5年4月＞ 博士（美術） 芸術論
兼任	講師	森田 優子 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 芸術論
兼任	講師	遠藤 健樹 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 倫理学
兼任	講師	小原 拓磨 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 倫理学 フランス語ⅠA※ フランス語ⅠB※
兼任	講師	菅原 宏道 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 倫理学
兼任	講師	佐藤 賢 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 歴史学
兼任	講師	島津 諭志 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 歴史学
兼任	講師	熱川 容子 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 歴史学
兼任	講師	細谷 要 (41) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 歴史学
兼任	講師	三田 辰彦 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 歴史学

兼任	講師	瀬尾 千恵美 (50) ＜令和5年4月＞ 修士（学術） キャリア形成の探究
兼任	講師	林 修三 (48) ＜令和5年4月＞ 学士（法学） キャリア形成の探究
兼任	講師	川島 彬 (35) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 哲学
兼任	講師	安藤 さやか (39) ＜令和5年4月＞ 博士（美術） 芸術論
兼任	講師	森田 優子 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 芸術論
兼任	講師	小原 拓磨 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 倫理学 フランス語ⅠA※ フランス語ⅠB※
兼任	講師	菅原 宏道 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 倫理学
兼任	講師	佐藤 賢 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 歴史学
兼任	講師	島津 諭志 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 歴史学
兼任	講師	熱川 容子 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 歴史学
兼任	講師	細谷 要 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 歴史学
兼任	講師	三田 辰彦 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（文学） 歴史学

			兼任 講師	源島 穰 (34) ＜令和5年4月＞ 博士（政治学）	兼任 講師	源島 穰 (35) ＜令和5年4月＞ 博士（政治学）
				現代の政治		現代の政治
			兼任 講師	酒井 宣昭 (45) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	兼任 講師	酒井 宣昭 (46) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）
				東北地域論		東北地域論
			兼任 講師	関根 良平 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	兼任 講師	関根 良平 (52) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
				東北地域論		東北地域論
			兼任 講師	瀬戸 真之 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	兼任 講師	瀬戸 真之 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
				東北地域論		東北地域論
			兼任 講師	原 裕太 (31) ＜令和5年4月＞ 博士（地球環境学）	兼任 講師	原 裕太 (32) ＜令和5年4月＞ 博士（地球環境学）
				東北地域論		東北地域論
			兼任 講師	宮原 育子 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）		
				東北地域論		
			兼任 講師	小林 善司 (68) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）	兼任 講師	小林 善司 (69) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）
				数理の科学		数理の科学
			兼任 講師	棚橋 浩太郎 (69) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）		
				数理の科学		
			兼任 講師	松本 秀明 (69) ＜令和5年4月＞ 理学博士		
				環境の科学		
			兼任 講師	乙藤 岳志 (68) ＜令和5年4月＞ 理学博士	兼任 講師	乙藤 岳志 (69) ＜令和5年4月＞ 理学博士
				自然の科学		自然の科学
			兼任 講師	綿村 哲 (67) ＜令和5年4月＞ 理学博士	兼任 講師	綿村 哲 (68) ＜令和5年4月＞ 理学博士
				自然の科学		自然の科学
			兼任 講師	大沼 亮 (35) ＜令和5年4月＞ 博士（理工学）		
				AI社会の基礎		

			兼任 講師	高橋 晶子 (43) ＜令和5年4月＞ 博士（情報科学）			
				AI社会の基礎			
			兼任 講師	鎌田 幸雄 (61) ＜令和5年4月＞ 文学修士	兼任 講師	鎌田 幸雄 (62) ＜令和5年4月＞ 文学修士	
				英語ⅠA 英語ⅠB		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	
			兼任 講師	酒井 紀行 (51) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	兼任 講師	酒井 紀行 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）	
				英語ⅠA 英語ⅠB		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	
			兼任 講師	茂泉 しほ (60) ＜令和5年4月＞ 教育学修士	兼任 講師	茂泉 しほ (61) ＜令和5年4月＞ 教育学修士	
				英語ⅠA 英語ⅠB		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	
			兼任 講師	柴田 尚子 (46) ＜令和5年4月＞ 博士（国際文化）	兼任 講師	柴田 尚子 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（国際文化）	
				英語ⅠA 英語ⅠB		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	
			兼任 講師	高橋 直彦 (65) ＜令和5年4月＞ 文学修士※	兼任 講師	高橋 直彦 (66) ＜令和5年4月＞ 文学修士※	
				英語ⅠA 英語ⅠB		英語ⅠA 英語ⅠB	
			兼任 講師	星 かおり (46) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	兼任 講師	星 かおり (47) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※	
				英語ⅠA 英語ⅠB		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	
			兼任 講師	Muirhead Gerald (62) ＜令和5年4月＞ Bachelor of Arts in History （英国）	兼任 講師	Muirhead Gerald (63) ＜令和5年4月＞ Bachelor of Arts in History （英国）	
				英語ⅠA 英語ⅠB		英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB	
			兼任 講師	押領司 史生 (48) ＜令和5年4月＞ 修士（国際文化）			
				ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB※			
			兼任 講師	Carow-Watamura Ursula (66) ＜令和5年4月＞ 博士（理学）			
				ドイツ語ⅠA			
			兼任 講師	菊池 克己 (59) ＜令和5年4月＞ 文学修士	兼任 講師	菊池 克己 (60) ＜令和5年4月＞ 文学修士	
				ドイツ語ⅠA ドイツ語ⅠB※		ドイツ語ⅠA※	

兼任	講師	川嶋 周英 (60) ＜令和5年4月＞ 文学士 日本語Ⅱ A 日本語Ⅱ B
兼任	講師	高野 岳彦 (67) ＜令和5年4月＞ 理学修士※ 地域と自然※ 地域データ分析法 都市と農山村の地理学
兼任	講師	出村 伸 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※ 外国史概説 ヨーロッパ史概論Ⅰ
兼任	講師	及川 英美子 (68) ＜令和5年4月＞ 教育学修士※ 特別活動・総合的な学習の時間の 理論と方法※
兼任	講師	中村 修 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※ 生徒指導・進路指導の理論と方法※
兼任	講師	藤原 妃敏 (68) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※ 博物館概論 博物館教育論
兼任	講師	桑村 佐和子 (56) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学） 生涯学習支援論※
兼任	講師	松田 道雄 (62) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学） 生涯学習支援論※
兼任	講師	梨本 雄太郎 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※ 現代社会と社会教育
兼任	講師	水谷 修 (68) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※ 社会教育課題研究 社会教育経営論※

兼任	講師	井上 功一郎 (37) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学） スポーツ実技B
兼任	講師	藤本 敏彦 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（医学） スポーツ実技B
兼任	講師	渡辺 圭佑 (37) ＜令和5年4月＞ 修士（スポーツ健康科学）※ スポーツ実技B
兼任	講師	川嶋 周英 (60) ＜令和5年4月＞ 文学士 日本語Ⅱ A 日本語Ⅱ B
兼任	講師	高野 岳彦 (67) ＜令和5年4月＞ 理学修士※ 東北地域論 地域と自然※ 地域データ分析法 都市と農山村の地理学
兼任	講師	出村 伸 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※ ドイツ語Ⅰ A ドイツ語Ⅰ B※ 外国史概説 ヨーロッパ史概論Ⅰ
兼任	講師	及川 英美子 (68) ＜令和5年4月＞ 教育学修士※ 特別活動・総合的な学習の時間の 理論と方法※
兼任	講師	中村 修 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※ 生徒指導・進路指導の理論と方法※
兼任	講師	藤原 妃敏 (68) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※ 博物館概論 博物館教育論
兼任	講師	桑村 佐和子 (57) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学） 生涯学習支援論※
兼任	講師	松田 道雄 (62) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学） 生涯学習支援論※
兼任	講師	梨本 雄太郎 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※ 現代社会と社会教育
兼任	講師	水谷 修 (68) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※ 社会教育課題研究 社会教育経営論※

兼任	講師	井上 功一郎 (38) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学） スポーツ実技B
兼任	講師	藤本 敏彦 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（医学） スポーツ実技B
兼任	講師	渡辺 圭佑 (38) ＜令和5年4月＞ 修士（スポーツ健康科学）※ スポーツ実技A
兼任	講師	川嶋 周英 (61) ＜令和5年4月＞ 文学士 日本語Ⅱ A 日本語Ⅱ B
兼任	講師	高野 岳彦 (68) ＜令和5年4月＞ 理学修士※ 地域データ分析法 都市と農山村の地理学
兼任	講師	出村 伸 (58) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※ ドイツ語Ⅰ A※ ドイツ語Ⅰ B※ 外国史概説 ヨーロッパ史概論Ⅰ
兼任	講師	及川 英美子 (69) ＜令和5年4月＞ 教育学修士※ 特別活動・総合的な学習の時間の 理論と方法※
兼任	講師	中村 修 (53) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※ 生徒指導・進路指導の理論と方法※
兼任	講師	藤原 妃敏 (69) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）※ 博物館概論 博物館教育論
兼任	講師	桑村 佐和子 (58) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学） 生涯学習支援論※
兼任	講師	松田 道雄 (63) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学） 生涯学習支援論※
兼任	講師	梨本 雄太郎 (58) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※ 現代社会と社会教育
兼任	講師	水谷 修 (69) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）※ 社会教育課題研究 社会教育経営論※

						兼任	講師	秋葉 勉 (68) <令和6年4月> 文学修士
								英語ⅠA 英語ⅠB
						兼任	講師	加藤 輝 (32) <令和6年4月> 修士(情報科)
								英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB
						兼任	講師	栗山 勝行 (38) <令和6年4月> 博士(文学)
								倫理学
						兼任	講師	斎藤 伸治 (63) <令和6年4月> 文学修士※
								英語ⅡA 英語ⅡB
						兼任	講師	柴田 和枝 (65) <令和6年4月> 修士(国際文化)
								英語ⅡA 英語ⅡB
						兼任	講師	鈴木 順 (47) <令和6年4月> 博士(工学)
								データ活用による探究
						兼任	講師	高橋 知花 (30) <令和6年4月> 博士(文学)
								社会学 基礎コンピュータ
						兼任	講師	千 凡晋 (49) <令和6年4月> 教育学博士
								韓国・朝鮮語ⅡA 韓国・朝鮮語ⅡB
						兼任	講師	DEAN Daniel (41) <令和6年4月> Master of Business Administration(米国)
								英語コミュニケーション
						兼任	講師	藤 綾子 (37) <令和6年4月> 博士(経済学)
								共生社会と倫理
						兼任	講師	FATH-MIYAZAKI Frederike (62) <令和6年4月> 高等学校卒(ドイツ)
								ドイツ語ⅠA※ ドイツ語ⅠB

						兼任	講師	矢田 尚子 (58) ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
								中国語Ⅱ A
						兼任	講師	湯本 良次 (67) ＜令和6年4月＞ 理学士
								データ活用による探究
						兼任	講師	LEYOUDEC Gwenael (45) ＜令和6年4月＞ Maîtrise 1 de Français Langue Étrangère（フランス）
								フランス語コミュニケーション A フランス語コミュニケーション B
						兼任	講師	張 錦環 (64) ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）
								韓国・朝鮮語Ⅰ A ※
						兼任	講師	我妻 秀栄 (28) ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
								基礎コンピュータ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- 専任教員
 - ・伊藤晶文教授：「環境の科学」を担当
 - ・平吹喜彦教授：「科学的思考の基礎」を担当
 - ・目代邦康准教授：「地理学」を担当
 - ・柳澤英明准教授：「科学的思考の基礎」を担当
- 兼任・兼任教員
 - ・2023年4月昇任による職位変更、統合されたキャンパスの文理融合を促進することを目的として、教養教育科目等を全学共通科目の位置づけにしたこと等の理由により、5 教員組織の状況>(1)-①のとおり変更。

【令和6年度】

- 専任教員
 - ・平吹喜彦教授：「科学的思考の基礎」を削除。
 - ・坪田益美准教授：2024年4月昇任による職位変更（准教授→教授）。
 - ・目代邦康准教授：「地理学」を削除。
 - ・柳澤英明准教授：「科学的思考の基礎」を削除。
 - ・庄子元准教授：2024年4月から就任。担当科目は「社会と産業基礎論」「地域コミュニティ学基礎実習」「地域コミュニティ学発展実習」「地域データ分析法」「地域と自然」「東北地域論」。
 - ・一柳貴博講師：2024年4月から就任。担当科目は「教育心理学」「健康と福祉基礎論」。
- 兼任・兼任教員
 - ・2024年4月昇任による職位変更、教養教育科目等を全学共通科目の位置づけにしたこと、教育課程編成上の都合等の理由により、5 教員組織の状況>(1)-①のとおり変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
10	7	0	0	17	0	11	7	1	0	19	0
(10)	(7)	(0)	(0)	(17)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
11	7	1	0	19	0	11	7	1	0	19	0
[1]	[0]	[1]	[0]	[2]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員のう ち、定年を延長して 採用している教員数	完成年度時(上記 (C))の教員のう ち、定年を延長して 採用する教員数
教授：67 その他：65 歳	0 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{17} = \boxed{111.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
-	-	-	-	-	-	-	-						
-	-	-	-	-	-	-	-						
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
-	-	-	-	-	-	-	-						
-	-	-	-	-	-	-	-						
合 計（ F ）						後任補充状況の集計（ G ）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（ a ） + （ b ） + （ c ）				①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{17} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
-	-	-	-	-	-	-				
-	-	-	-	-	-	-				
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【届出】 遵守事項	本附帯事項に関しては、以下の3点を今後適切に履行することで対応する。 ①本学科の専任教員数は、設置届出時の17名を下回ることなく、維持または必要に応じ増員する。 ②定年等により退職する教員については、空白期間のないように、学内からの補充・昇任または学外からの新規教員採用により、同等の職位の教員を後任として配置する。学内昇任による補充の場合は、同数の若手教員を新たに採用する。 ③本学科の准教授以下の職位の教員については、教授との共同研究等により、原著論文の執筆等、研究業績の蓄積を奨励し、上位職位への昇任を促す。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<地域総合学部 地域コミュニティ学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①カリキュラム・ポリシー ※2023年度入学生まで適用 1. 学修成果1～4を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。 2. 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。 3. 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、地域コミュニティ学科においては英語を4単位必修、ドイツ語・フランス語・中国語・韓国朝鮮語のいずれかを2単位選択必修とし、政策デザイン学科では英語を4単位必修とする。 4. 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「課題探究」を置き、その中で自ら課題を発見し、その解決を希求する姿勢を養う。 5. 教養教育科目の「人間的基礎」、「知的基礎」、「課題探究」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせ、学修成果1、2、4の達成と専門教育との接続により学修成果5の基礎とする。 6. 学修成果3は、能動的学修にむけた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部となる。さらに、学修成果の活用を主たる目的として、地域コミュニティ学科では、専門科目に演習形式の授業科目及び総合研究を必修科目として置き、政策デザイン学科では専門科目に演習形式の授業科目及び卒業研究を必修科目として置く。 7. 学修成果4を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「共通教養」科目群を置く。また、初年次の専門基盤科目もこの学修成果を達成するための基礎とする。 8. 学修成果5を達成することを主たる目的として、専門科目を置く。 9. 卒業所要単位及び履修方法は、専門科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう学科ごとに適切に定める。	①カリキュラム・ポリシー ※2024年度入学生より適用 1. 学修成果1～4を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。 2. 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。 3. 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、英語を4単位必修、ドイツ語・フランス語・中国語・韓国朝鮮語のいずれかを2単位選択必修とする。 4. 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「課題探究」を置き、その中で自ら課題を発見し、その解決を希求する姿勢を養う。 5. 教養教育科目の「人間的基礎」、「知的基礎」、「課題探究」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせ、学修成果1、2、4の達成と専門教育との接続により学修成果5の基礎とする。 6. 学修成果3は、能動的学修にむけた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部となる。さらに、学修成果の活用を主たる目的として、専門科目に演習形式の授業科目及び総合研究を必修科目として置く。 7. 学修成果4を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「共通教養」科目群を置く。また、初年次の専門基盤科目もこの学修成果を達成するための基礎とする。 8. 学修成果5を達成することを主たる目的として、専門科目を置き、フィールドワークやグループワークを通じて、地域の深い認識と学際的な手法で地域の多様な要素を研究し、専門知識を活用する能力を高める。また、地域調査、データ分析、文書の読解といったワークスキルや、地域住民の視点からよりよい地域のあり方をプレゼンテーションする力を身に付ける。 9. 卒業所要単位及び履修方法は、専門科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう適切に定める。

②アドミッション・ポリシー ※2024年度入学生まで適用 1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度） 2. 地域総合学部教育理念・目的や教育内容を理解した上で、地域総合学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度） 3. 高等学校における学習によって、文系・理系科目それぞれの幅広い基礎的知識とそれを応用する力を有している。（知識・技能／学修への態度） 4. 高等学校の「コミュニケーション英語Ⅰ」で達成すべき英語力がある。（知識・技能） 5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力） 6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度） 7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）	②アドミッション・ポリシー ※2025年度入学生より適用 1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度） 2. 地域総合学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、地域に関する自然・社会事象及び政策を学ぼうとする関心と意欲を持ち、地域が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度） 3. 高等学校における学習によって、地域総合学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能） 4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力） 以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。 5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度） 6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
--	--

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 本学のFD活動については、全学的な組織である「東北学院大学FD推進委員会」を設置し、平成16年より授業内容・方法に関する各学部・学科の現状報告がなされている。それを受けて、全学FD講演会及びFD研修会を開催し、平成17年からはそれらの活動概要をまとめた『FDニュース』を年2回発行している（資料1「東北学院大学FD推進委員会規程」）。各学部及び各研究科においてもFD活動を実施しており、東北学院大学FD推進委員会は同委員会規程第3条第1項第1号及び第2号に従い、各学部及び各研究科におけるFDへの取組状況を聴取するとともに、FDに関する情報を各学部及び各研究科に提供してFD活動を推進している。また、全ての専任教員を対象とした全学教員会議（年2回）においてもFD研修に関わる報告や講演等が実施されている。 本学のSD活動については、教員・職員を対象として実施している。全教職員に向けた研修の機会を設け、教職協働に基づく研修テーマの設定により、必要な知識及び技能を習得させ、その能力及び資質を向上させるなど、必要な取組を行っている。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 東北学院大学FD推進委員会については、令和6年度も規程に従って、同委員会を開催する予定である。同委員会は、副学長、各学部・研究科から1名ずつ選出された教員、高等教育開発室長、高等教育開発室副室長、教育総合研究所長、学務部長によって構成されている。 SD活動については学校法人東北学院人事会議に人事部人事課がSD活動の企画案を諮り、承認を受けて実施する。同会議は原則、毎週開催され、副学長（総務担当）が委員として出席している。 c 委員会の審議事項等 FD推進委員会では規程に従い、以下の事項を審議・検討し、その実施にあたっている。 （1）各学部・学科、各研究科・専攻におけるFDへの取り組み状況を相互に報告し、意見を交換すること。 （2）FDに関する情報を収集して分析し、情報及び分析によって得られた知見を、各学部・学科、各研究科・専攻、個々の教員等に提供すること。 （3）FDに関する講演会、研修会等を企画・実施すること。 SDについては、学校法人東北学院法人事務組織規程第4条（人事部の事務分掌）第2項第1号「イ職員の研修計画及び実施に関すること。」に従い、研修が実施されている。	② 実施状況 a 実施内容 ・ 新任教員FD研修会を令和6年4月4日及び5日に開催した。 日時：令和6年4月4日（木）、5日（金）9:30-12:00 場所：土樋キャンパス5号館第1・第2会議室、五橋キャンパス講義棟3階L307教室 主催：東北学院大学FD推進委員会 内容：本学の教育方針とカリキュラム構成、授業運営に関する諸連絡、学修eポートフォリオ、科研費申請、学生指導上の留意点、学習支援システム、意見交換会
--	---

・令和6年4月11日開催の全学教員会議においてFDに関する内容を扱った。 日時：令和6年4月11日（木）15:30-17:00 場所：五橋キャンパス押川記念館押川ホール 主催：東北学院大学学務部教務課 内容：TG Grand Vision 150第II期中期計画2023年度実行計画の重点項目総括、今年度の大学運営に関する重点項目、基幹教員制度の概要、今年度の授業運営他 ・令和5年度はFD研修会・講演会を2回行った。新任教員対象のFD座談会も9月に実施した。 【令和5年度の取り組み状況】 ・第30回FD研修会・講演会 日時：令和5年7月20日（木）15:00-17:00 場所：土樋キャンパス8号館ホール842教室及びZoom併用 主催：学務部学修支援課 内容：講演「2023年度入試結果概要－改組の影響を中心に」（株式会社進研アド杉山大介氏） 「高等教育における生成AIの活用と問題点」（高等教育開発室長中村教博教授） ・第31回FD研修会・講演会 日時：令和5年12月7日（木）15:00-16:30 場所：土樋キャンパス8号館ホール842教室及びZoom併用 主催：学務部学修支援課 内容：講演「障がいを持つ学生への合理的配慮について」（学生健康支援センター長清水貴裕教授） 「地域連携センター・地域連携課における地域連携の取り組みについて」（地域連携センター長坂本泰伸教授） 「TG-folioの運用状況および次年度の活用推進に向けて」（学長特別補佐教学改革担当稲垣忠教授） 報告「来年度のシラバス作成について」（学務部長平野幹雄教授）	・新任教員FD座談会 日時：令和5年9月11日（月）14:00-16:30 場所：土樋キャンパス8号館第3・4会議室 主催：学務部学修支援課 内容：私大連主催新任教員研修FDワークショップ参加報告、前期授業の振り返り・情報交換 ・令和5年度の全教職員対象のSD研修会は以下の通り実施した。 【令和5年度の取り組み状況】 ・SD研修プログラム「大学の質保証と認証評価」研修会 日時：令和5年6月29日（木）15:00-16:30 場所：五橋キャンパス押川記念館押川ホール 主催：学長室政策支援IR課 内容：講演「大学の質保証と認証評価」（大学基準協会事務局長工藤潤氏） ・東北学院教職員研修 日時：令和5年8月30日（水）9:00-12:00 場所：土樋キャンパス8号館ホール 主催：学校法人東北学院人事部人事課 内容：講演「学校法人東北学院クレドカード(MY CREDO)の理解と浸透に向けて」（学校法人東北学院ブランドデザインプロジェクト） 「大学認証評価と実地調査」（副学長（点検・評価担当）中沢正利教授） 「生成 AI の特性と社会への影響」（情報学部データサイエンス学科武田敦志教授） ・全学SD研修会 日時：令和5年12月6日（水）15:00-16:30 場所：土樋キャンパス8号館ホール 主催：学校法人東北学院人事部人事課 内容：講演「ハラスメントの基礎知識と大学におけるハラスメント」（アネスティ法律事務所弁護士須田晶子氏） b 実施方法 ・令和5年7月20日及び12月7日開催のFD研修会は対面で行った。 ・令和5年9月11日の新任教員FD座談会は対面で行った。 ・令和5年6月29日、8月30日及び12月6日のSD研修会は対面で行った。 ・令和6年4月4日、5日開催の新任教員FD研修会は対面で行い、学内の施設見学も行った。 ・令和6年4月11日開催の全学教員会議は対面で行った。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・令和5年7月20日及び12月7日開催のFD研修会はそれぞれ237名、258名の教員が参加した。 ・令和5年9月11日開催の新任教員FD座談会は新任教員23名が参加した。 ・令和5年6月29日、8月30日及び12月6日開催のSD研修会はそれぞれ422名、351名、334名の教職員が参加した。 ・令和6年4月4日、5日開催の新任教員FD研修会には令和6年度新任教員19名が参加した。地域コミュニティ学科は2名の新任教員が参加した。質疑応答では主に授業運営に関する質問が活発に出された。 ・令和6年4月11日開催の全学教員会議は新任教員も含め、253名の教員が押川記念館押川記念ホールに一堂に会して実施された。質疑応答においては授業運営に関する質問が多く出された。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 全学教員会議及び新任教員FD研修会では学務部長が授業運営方法について詳しい説明を行った。4月12日から始まった授業において、FD研修で共有された情報をもとに各教員が授業改善に取り組んでいる。	③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期
---	---	--

授業評価に関する全学組織として「授業改善のための学生アンケート」実施委員会が設置されており、授業改善のための学生アンケート実施手順に従って、専任教員及び非常勤教員の別なく「授業改善のための学生アンケート」を実施している。その目的は授業改善にあり、授業に対する学生からの声に基づいて担当教員が自らの授業をより良いものにするためである。「授業改善のための学生アンケート」は、全ての講義科目について、原則として各学期の授業の最終週ないしその前週に実施されている。本学科の令和5年度開講の全授業科目についても、令和5年7月下旬及び令和6年1月下旬に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員の個別科目に関する「授業改善のための学生アンケート」の評価結果は、次の学期の授業開始前にLMSで公開しており、各自で確認できる。各教員はその結果を自らの授業改善に役立てよう活用することとなっている。また、「授業改善のための学生アンケート」実施委員会は、アンケートの実施状況及びその評価結果をとりまとめた『「授業改善のための学生アンケート」結果報告書』として公開している。これを全教員に配付するとともに、大学ホームページに公開し、学生閲覧用として図書館及び学務部教務課窓口に配置している。個別科目のアンケート結果も同様に、学生閲覧用に図書館及び学務部教務課窓口に配置している。また、個別科目のアンケート結果は各学部長にも配付している。さらに、各授業科目の学生による総合評価点平均値が一定基準を上回る優秀教員には学長が表彰を行い、一定基準を下回る教員には改善計画書の提出を義務付けている。本学科の令和5年度開講の全授業についても、上記と同様の対応を行う予定である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

東北学院大学地域総合学部地域コミュニティ学科は、【多様な要素から成り立つ地域を深く理解して、地域住民の視点によりよい地域を構想し、地域の課題を解決していくことのできる人材を育てる】ことを目的として令和5年4月に設置された。その目的を達成するために、以下の取り組みを行った。

1. 入学者の確保

地域コミュニティ学科の紹介ホームページ、オープンキャンパス、紹介パンフレットなどを通して、(1)「社会産業領域」「健康福祉領域」「人と自然領域」という3つの領域を設定し、それらの領域にかかわる多様な学問を領域横断的に学べること、(2)地域コミュニティの成り立ちや仕組みを地域住民の視点から理解するためのフィールドワークを全ての学年で体験できること、(3)中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(地理歴史)、高等学校教諭一種免許状(公民)、社会教育主事任用資格(社会教育士)、測量士補、地域調査士、GIS学術士などの多彩な資格を取得することなどの教学内容、及びアドミッションポリシー、履修モデルなどの説明を行った。その結果、入学定員150名に対して738名の志願者数を集めることができ、入学者は168名となった。次年度も入学志願者の更なる上積みを目指し、さらなる広報活動の充実を図っていく。

2. 1年次配当科目の実施

1年次配当科目には、それぞれの学年の専門的な学びの基盤となりかつ中心的な位置を占める科目を配置した「専門基盤科目」、フィールドワークを実践するための実習科目や資格取得に必要な実習科目を配置した「実習科目」、資格取得に必要でありかつ学科で学ぶために必要な専門的知識として修得することが望ましい科目を配置した「専門関連科目」がある。

専門基盤科目としては、「社会と産業基礎論」「健康と福祉基礎論」「人と自然基礎論」を配置し、これらの基礎論を踏まえてさらに発展的に地域コミュニティの特徴や構造をとらえる学問的知見を身に付けるために「市民活動論」「地域生活論」「地域と自然」（いずれも後期開講）を配置している。「基礎コンピュータ」は、テキストエディタや表計算ソフトの基本的・応用的操作を学ぶものであり、2年次配当科目である「地域データ分析法」を学ぶうえでの基礎知識を提供する。また、統計図表や地図を用いながら地理的な地域コミュニティの把握をするために「地理学要説」を配置し、さらには地域における自然環境と人間活動の関係性を科学的に究明しながら地域コミュニティを総合的に把握できることを学ぶ「地誌学要説」も配置している。「SDGs概論」は、近現代社会の社会関係の特質を理解し、未来に向けて持続可能な社会のあり方を考えていくという点で、よりよい地域コミュニティを構想するための知識を修得するために必要不可欠な科目として配置している。

地域コミュニティの成り立ちや仕組みを地域住民の視点から理解するために最も重要となるのがフィールドワークであり、1年次の実習科目である「地域コミュニティ学基礎実習」では、フィールドワークを体験的に学習し、基礎的な調査研究の技法を学ぶ。

1年次に配当されている他の専門関連科目としては「日本史概説」「外国史概説」「民俗学概論Ⅰ」「民俗学概論Ⅱ」の4科目があり、いずれも中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（地理歴史）の教科に関する専門的事項を学ぶ科目を配置している。

3. 2年次配当科目の実施

2年次配当科目には、それぞれの学年の専門的な学びの基盤となりかつ中心的な位置を占める科目を配置した「専門基盤科目」、地域コミュニティを構成する多様な要素にアプローチするために〔社会産業領域科目〕〔健康福祉領域科目〕〔人と自然領域科目〕の3つの科目区分に分け、それぞれの領域に関連する学問領域の専門的知識を修得できる科目群を配置した「領域専門科目」、フィールドワークを実践するための実習科目や資格取得に必要な実習科目を配置した「実習科目」がある。

専門基盤科目では、1年次の「基礎コンピュータ」での学びを基礎とした「地域データ分析法」を配置し、地域データの利活用法と分析法を教授する。

領域専門科目では、「社会産業領域科目」において、地域コミュニティの地理的構造や産業構造、地域資源、文化や宗教、社会関係ならびに教育の歴史の変容といった側面に光をあて、それらを専門的に捉えるための知見を修得するために「経済地理学」「地域資源保全論」「地域と教育の歴史」の3科目を配置している。また、「健康福祉領域科目」においては、地域コミュニティにおいて年代や障害の有無を問わずすべての人々が生きがいをもち、生涯にわたって豊かな生活を営むために必要な事柄について専門的に理解するために、「地域福祉論」「生涯学習概論Ⅰ」「生涯学習概論Ⅱ」「社会コミュニケーション論」の4科目を、「人と自然領域科目」においては、人と自然環境の共存、自然条件を活かした土地利用と災害への備え、そこで発揮される市民性等についての専門的理解を深めるために、「気候学」「地形学」「生態学」「環境社会学」の4科目を配置している。

実習科目では、1年次の「地域コミュニティ学基礎実習」での学びを基礎とした「地域コミュニティ学発展実習」を配置し、より発展的な調査研究の技法を教授する。

以上のことから、設置の趣旨・目的に関して、令和6年5月1日時点としては当初の計画を概ね遂行することができていると考える。

② 自己点検・評価報告書

東北学院大学における点検・評価は、平成4年に制定された「東北学院大学点検・評価に関する規程」に基づき3年を1期のサイクルとして毎年度実施している。本学科も含めた全学的観点に基づく自己点検・評価については、令和5年度中に実施し、その報告書を作成・公表済みである。

a 公表（予定）時期

報告書は令和6年4月に公表済みである。

b 公表方法

大学ホームページ上に公表済みである（令和6年4月）。

③ 認証評価を受ける計画

平成29年度に大学基準協会の認証評価を受審し、平成30年3月28日付で大学基準に適合していると認定された。認定の期間は、平成30年4月1日～令和7年3月31日の7年間である。したがって、今年度に第3期の認証評価を受審することとなっている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○東北学院大学 F D 推進委員会 規程

平成15年12月22日制定第14号

改正

平成16年 4 月 1 日

平成17年 4 月 1 日

平成20年 4 月 1 日

平成29年 3 月22日改正第66号

令和 2 年10月14日改正第84号

令和 2 年12月24日改正第141号

令和 5 年 3 月 8 日改正第93号

東北学院大学 F D 推進委員会 規程

(設置)

第 1 条 東北学院大学点検・評価に関する規程第10条に基づき、東北学院大学点検・評価委員会（以下「点検・評価委員会」という。）の下に、東北学院大学 F D 推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的及び定義)

第 2 条 委員会は、東北学院大学（以下「本学」という。）における各学部、教養教育センター、各研究科及び各教員の教育活動の質向上を支援し、かつ、新任教員を対象とする本学の 3 つのポリシー（「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受け入れの方針」）に関する研修の企画及び実施に当たることにより、教育方法の改善を図ることを目的とする。

2 この規程において、「ファカルティ・ディベロップメント（F D）」（以下「F D」という。）とは、前項の目的に従い本学の教育職員を対象とした教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の諸活動をいう。

3 前項に定める F D の企画及び実施に際しては、東北学院大学の基本方針に掲げる教員組織の編成方針及び教育活動の基本方針に従い、本学教員の人材を育成し、その能力向上に資することを主眼としなければならない。

(審議、検討事項等)

第 3 条 委員会は、前条第 1 項の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議及び検討し、その実施に当たる。

- (1) 各学部、教養教育センター及び各研究科におけるFDへの取組状況に関する報告を聴取し、FDの推進に向けて必要な改善の指針を提示すること。
 - (2) FDに関する学内外の情報を収集し、その分析によって得られた知見を、各学部、各研究科及び各教員に提供して、FDの推進を促すこと。
 - (3) FDに関する講演会、研修会等を企画及び実施すること。
 - (4) その他FDに関すること。
- 2 委員会は、学内の関係各部局に対し、前項に掲げる事項の審議に必要な資料の提出を求めることができる。
- 3 委員会は、毎年度その活動の状況を点検・評価委員会に報告するものとする。

(組織)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副学長（学務担当）及び副学長（点検・評価担当）
 - (2) 各学部及び教養教育センターから1名ずつ選出された教員
 - (3) 各研究科から1名ずつ選出された教員
 - (4) 高等教育開発室長及び高等教育開発室副室長
 - (5) 教育総合研究所長
 - (6) 学務部長
 - (7) その他委員長が必要と認めた者
- 2 委員会に委員長を置き、副学長（学務担当）をもって充てる。
- 3 委員長は、必要に応じて、委員以外の者を委員会に陪席させることができる。
- 4 委員会は、必要に応じて、小委員会又は作業部会を設けることができる。

(委員の任期)

第5条 第4条第1項第2号及び第3号に掲げる委員（以下「選出委員」という。）の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず、選出委員が任期途中で欠けた場合に新しく選出される後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会の招集及び議事)

第6条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長により指名された委員が委員長の職務を代行する。

- 2 委員長は、委員総数の3分の1以上に当たる委員から要請を受けた場合は、速やかに委員会を開

催しなければならない。

3 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。

4 委員会の審議事項は、出席委員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは議長の決するところによる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、学務部学修支援課において処理する。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、点検・評価委員会の発議に基づき、教授会及び大学院委員会の議を経て学長が行い、理事会の承認を得るものとする。

附 則

1 本規程は、平成15(2003)年12月22日から施行する。

2 第6条第1項の規定にかかわらず、平成15(2003)年度に選出された委員の任期は、平成18(2006)年3月末日とする。

附 則 (平成16年4月1日)

本規程は、平成16(2004)年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年4月1日)

本規程は、平成17(2005)年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年4月1日)

本規程は、平成20(2008)年4月1日から施行する。

附 則 (平成29年3月22日改正第66号)

この規程は、平成29(2017)年4月1日から施行する。

附 則 (令和2年10月14日改正第84号)

この規程は、2020年10月14日から施行し、2020年4月1日から適用する。

附 則 (令和2年12月24日改正第141号)

この規程は、2020年12月24日から施行する。

附 則 (令和5年3月8日改正第93号)

この規程は、2023年4月1日から施行する。